

## 運動参加率競技 三次市は27日 逗子市と対戦

三次市は27日に開かれる、自治体ごとに運動した人数の全人口に対する割合を競うスポーツイベント「チャレンジデー2015」に3年連続で参加する。本番を前にした22日、増田和俊市長が、対戦相手となる神奈川県逗子市の平井竜一市長と



インターネット電話でメール交換をした写真。平井市長は、市内に運動施設を整備したことを紹介し「大勢の市民に来てもらい、参加率を上げたい」と強調。増田市長は「新設したスポーツ課を中心に、全市を挙げて取り組

む」と応じた。当日は午前0時から午後9時まで、三次市内で体操やウォーキングなどの運動を15分以上続けた人からの自己申告を集計する。場所や種目は問わない。全国の130自治体が、人口が同規模の相手と競う。市は13年に秋田県能代市、14年に福島県伊達市を相手に参加率30%台で勝利した。今回は50%を掲げ、3連勝を目指す。市への申告は、午前9時～午後9時。市地域振興部スポーツ課 0824(62)6553。(野平慧)

2015年5月23日 土曜日 中国新聞

## チャレンジデー 2万690人が運動 三次市参加率 最高37.5%



チャレンジデーに合わせてノルディックウォークを楽しむ市民

勝負は逗子市に完敗

三次市は27日、市民1万4587人、40・9%に運動を呼び掛ける全市民に及び、完敗。過半数の「チャレンジデー」の取り組みとして、福島県伊達市に勝っており、初めての敗戦など多彩な催しを繰り広げた。家や学校、職場などでの運動も含めた集計で2万690人が汗を流し、3回目の挑戦で最高の参加率37・5%を記録した。人口規模の似た自治体同士で参加率を競うバトルでは、対戦相手の神奈川県逗子市の2

三次市東酒屋町のみよし運動公園でのグラウンドゴルフ大会に参加した三和町羽出庭の農業村田サトミさん(69)は「すごく気持ちいい。みんなとの交流も楽しい」と話していた。(松本大典)

2015年5月28日 木曜日 中国新聞

### 主 催

宇部市チャレンジデー実行委員会 (会長 久保田后子)  
総合政策部 文化・スポーツ振興課  
〒755-8601 山口県宇部市常盤町一丁目7番1号  
宇部市役所3階  
TEL: 0836-34-8628 FAX: 0836-22-6008

### 結 果

人 口: 170,425 人	山口県宇部市	●
参加者数: 54,080 人	VS	
参加率: 31.7%	岩手県奥州市	○
取得メダル: 銀		

### プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングイベント (宇部市渡辺翁記念会館前広場) 200 人  
・ 山口元気ラジオ体操 & 初めての太極拳
- ② ファイナルイベント (俵田翁記念体育館) 150 人
- ③ チャレンジデー大使による野球教室 (クーピーアールスタジアム) 120 人
- ④ ハイハイレース (宇部市総合福祉会館) 110 人
- ⑤ 各団体によるイベント

### 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

### メディア

宇部日報/山口新聞/読売新聞/KRY 山口放送「ニュースライブ」/tys テレビ山口「スーパー編集局」/yab 山口朝日放送「Jチャンネル山口」/山口ケーブルテレビ「地元ユーセン 週刊C-スタジオ」

### 広報・周知

宇部市では、平成 26 年 10 月に「スポーツによるまちづくり」「健康長寿のまちづくり」を目的に、官民連携のネットワーク組織としてスポーツコミッションを設立しました。この度のチャレンジデーの実施にあたり、スポーツコミッションを中心に活動を開始しました。事業開始が 4 月からと短いながらも、コミッションメンバーが実行委員になったため、比較的スムーズに実行委員会を組織し、それぞれの団体での周知活動を始めることができました。また、民間スポーツ施設、総合型地域スポーツクラブなどを中心に市民向けの自由参加型プログラムが早くから開発されるなど、魅力あるプログラムが多数でき、各団体の積極的な勧誘により、市民も多数のプログラムに参加できました。また、4、5 月の休日を中心に、PR グッズを商業施設、祭りで配布するなど PR に努めました。

### 製作物

チラシ 100,000 枚/スタッフ T シャツ 250 枚/ポケットティッシュ 15,000 個/のぼり 206 本

### 実施効果

- ・ 各団体にイベントを企画していただき、宇部市全体で運動する機会を設けることができました。
- ・ 施設の無料開放やイベントにより、施設やスポーツをする場を知っていただく機会ができました。
- ・ 市内小学校と対戦市の小学校とのビデオレターの交換による交流が生まれました。
- ・ 校区や団体による参加報告の集約などが行われ、一体感が生まれました。
- ・ イベントの提供や周知活動など、スポーツコミッションの強みを感じることができました。

### 担当者から

本市は、今回初めてチャレンジデーを実施しました。初挑戦で周知期間が短く、市民にチャレンジデーのことを知っていただくこと大変苦労しました。まだまだ、周知が足りないことを実感しています。

目標には届きませんでしたが、初年度で 54,080 人 (31.7%) もの参加があり大変喜ばしく思っています。

チャレンジデーの趣旨である健康づくりより、対戦に勝つという事が先行した気もしましたが、来年度はチャレンジデーの実施を通じ、運動習慣のきっかけづくり、健康長寿のまちづくりに市民全体が取り組める様、特色あるプログラムの開発と、今年度の結果を踏まえ周知活動など進めていき、初勝利を目指し取り組んでいきたいと思います。



オープニングイベント



ハイハイレース

# 市がチャレンジデー初挑戦

全国一斉、27日にスポーツイベント

## 奥州市と対戦、参加率競う

人が対象。午後9時半まで、電話、フックス、メール、回収ボックスで市文化・スポーツ振興課内の実行委員会に報告すれば、参加となる。運動場は市内に限り、市外在住者もカウントする。事前の申し込みは不要。市では、昨年10月の市スポーツコンミッション設立、今年4月の健康づくり推進例施行など市民が健康で生き生きと暮らせる地域づくりを進めておき、10万人の参加を目標に掲げる。運動は、サッカーや野球などの競技スポーツに限らず、自宅での体操や散歩、清掃活動など特約はない。参加しやすいよう、スポーツ団体のジムなどと連携した当日限定のイベントも企画。午前7時半から行われる「チャレンジデー」に初エントリーした。人口規模の似た自治体で直接対決で、参加者を競うスポーツイベント。対戦相手は、7回目の参加の岩手県奥州市に決まっている。同日午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続して運動をした

団と自治体が連携して始まった。今回は北海道から沖縄までの130カ所(99市48町13村)が実施する。県内では山口市も参加する。負けた自治体は、勝った自治体の旗を1週間、庁舎のメインポールの掲揚するというユニークなルールがあるのも特徴。

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、人口は66人(2月1日時点)。チャレンジデーには2008年から参加し、東日本大震災発生の11年を除き連続でエントリー。通算成績は2勝4敗で、昨年は鹿角市と対戦し、4年ぶりに勝利した。参加率は65.5%で、前年より11.6%、初参加時と比べて23.3%上昇したという。

問い合わせは、実行委員会(電話018622808)。(岩本)

2015年5月9日 土曜日  
宇部日報

### 住民のスポーツ参加率競う「チャレンジデー」



**対戦相手・奥州市とメール交換**

宇部市は27日、運動やスポーツの参加率を自治体同士で競い合う住民参加型イベント「チャレンジデー」に初めて参戦する。19日に、久保田市長が対戦相手となる岩手県奥州市の小沢市長とインターネット電話でメール交換した。

チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時に15分以上継続して運動やスポーツに取り組む住民の参加率を競うイベント。人口規模が同程度の自治体同士が対戦し、敗れ場合は相手自治体の旗を1週間掲揚する。山口市は今年から13年連続で参加している。人口は奥州市が12万708人(4月1日現在)、奥州市が12万708人(4月1日現在)。奥州市は7回目の参戦。過去に3回は奥州市と対戦する。奥州市の小沢市長と市長19日、宇部市

# 宇部市が初参戦

2015年5月20日 水曜日  
山口新聞

27日に全国一斉で行われる住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2015」。1993年から毎年5月の最終水曜日に開催されており、宇部市は市民の健康増進を目的に、初参加する。岩手県奥州市と、人口に対する参加率を競うのだが、どうすれば勝利に貢献できるのだろうか。市文化・スポーツ振興課の谷田真生さんに聞いた。

**なぜ? 探検隊**

なぜ? 探検隊 No.56

**チャレンジデーって?**

自治体同士が対決  
ごみ拾いなどもルールを教える。

人口規模の似た自治体同士の間で、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率」を競う。

野球やサッカー、バスケなど、どんな運動でも構わない。

**27日、住民のスポーツ参加率を競う**

勝敗は65.5%だった。久保田市長は「アトナ」がいたのは嬉しかった。大ベテンの奥州市に指差を受けながら、小沢市長は「距離は離れているが、対戦相手として交際できてうれしい。昨年も参加率が増えるように頑張りたい」と述べ、互いの健康を祈った。

宇部市は27日午前7時半から8時に運動場記念会館前で「山口県チャレンジデー」がはじめる。大ベテンの奥州市に指差を受けながら、小沢市長は「距離は離れているが、対戦相手として交際できてうれしい。昨年も参加率が増えるように頑張りたい」と述べ、互いの健康を祈った。

宇部市は27日午前7時半から8時に運動場記念会館前で「山口県チャレンジデー」がはじめる。大ベテンの奥州市に指差を受けながら、小沢市長は「距離は離れているが、対戦相手として交際できてうれしい。昨年も参加率が増えるように頑張りたい」と述べ、互いの健康を祈った。

宇部市は27日午前7時半から8時に運動場記念会館前で「山口県チャレンジデー」がはじめる。大ベテンの奥州市に指差を受けながら、小沢市長は「距離は離れているが、対戦相手として交際できてうれしい。昨年も参加率が増えるように頑張りたい」と述べ、互いの健康を祈った。

トボールなどの競技スポーツに限らず、スリッパ散歩、ごみ拾いなど個人でもできる。な特約に制限はない。運動手段から徒歩や自転車に変わるのもOK。性別、年齢にかかわらず参加できるのが特徴と語る。

「これは参加できる。市に限り、市内で運動をした全ての人が対象。運動をした人は、当日の午後9時半までに必ず市役所内の実行委員会(電話018622808)に報告してほしい。」

宇部の目標は10万人。奥州市に勝つのは、ライバルは7回目のベテラ

敗者は勝者の市町村旗を庁舎のメインポールに掲揚しなければならない。宇部市旗が東北ではためく。市民を挙げて、初参加初勝利を目指そう。(岩本)



ファイナルイベント 空き缶積み上げ大会

2015年5月23日 土曜日  
宇部日報

## 主催

山口市チャレンジデー実行委員会 (会長 渡辺純忠)  
 地域振興部 生涯学習・スポーツ振興課  
 〒753-8650 山口県山口市亀山町2番1号  
 山口総合支所  
 TEL: 083-934-2912 FAX: 083-934-2665

## 結果

人口: 194,660人	山口県山口市	○
参加者数: 97,988人	VS	
参加率: 50.3%	秋田県秋田市	●
取得メダル: 金		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①オープニングイベント (ラジオ体操等) (山口市市民会館) 370人
- ②スポーツ自由体験 (やまぐちリフレッシュパーク、山口南総合センター) 200人
- ③トレーニングルーム無料開放 (やまぐちリフレッシュパーク、山口南総合センター) 150人
- ④パークゴルフ体験 (河原谷公園パークゴルフ場) 150人
- ⑤各地域でのイベント (37プログラム) (市内各地域) 3,500人
  - ・運動やスポーツを身近に感じ、日常的な取り組みができるよう、各地域交流センターや地域づくり協議会などを中心に、企画、運営をしました。
  - ・市町合併後、地域が広域化し、実情が様々であることから、地域を主体とし、地域事情に合ったイベントを実施することにより、参加しやすい取り組みとしました。主に、ラジオ体操やウォーキングなどが企画されていますが、なかには、3世代交流体操教室や歴史史跡をめぐる「なんば歩き」ウォーキング教室など、ユニークな企画も実施されました。

### 【アスリート・著名人など】

レノファ山口FC (サッカーJ3リーグ)

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設/小・中学校PTA

## メディア

毎日新聞/朝日新聞/読売新聞/中国新聞/山口新聞/NHK山口放送局「情報維新!やまぐち」/KRY山口放送「熱血テレビ」/tysテレビ山口「tysスーパー編集局」/yab山口朝日放送「Jチャンやまぐち」/山口ケーブルテレビ「このまちに愛たい」/FM山口「morning street yamaguchi eye」

## 広報・周知

- ・山口市チャレンジデー応援サポーターに、今季サッカーJ3に昇格した山口のサッカークラブ「レノファ山口」に就任いただき、広報面で協力いただきました。特に、対戦相手自治体が同じJ3のカテゴリーのホームタウン市であることから、情報発信において、ともに相乗効果が得られました。
- ・メディア (メールやSNSなど) を使ったチャレンジデーの情報発信をしました。特に、PTA 連絡網を活用し、保護者へ周知を図りました。
- ・チャレンジデー当日に、スポーツボランティアをスポーツ施設や公園などに配置し、運動・スポーツをした人に報告をするよう呼びかけ、口コミによる周知を行ったため、ボランティアを配置したスポーツ施設の報告人数が増えました。

## 製作物

チラシ 80,000枚/ポケットティッシュ 10,000個/のぼり 200本/横断幕・懸垂幕 30枚/ポスター 1,000枚/ポータブルボトル 1,000個/PR映像 DVD10枚

## 実施効果

- ・山口市チャレンジデー応援サポーターに、サッカーJ3リーグに所属する「レノファ山口」に就任いただき、チラシ、横断幕、PRビデオ等、広報面で協力いただきました。また、対戦相手の秋田市をホームとする「ブラウブリッツ秋田」も同リーグであることから、チャレンジデー以外の戦いもあり、チャレンジデーの広報だけでなく、地域活性化の点においても、波及効果をもたらしました。
- ・各地域イベントに、市保健師等が参加し、地域コミュニティの活性化のみならず、「健康づくり」「体力づくり」の意識向上にもつなげることができました。
- ・各種メディア (メール・SNS) を使ったチャレンジデーの情報発信を行いました。また、スポーツ施設に來られた団体やサークルに呼びかけ、スポーツサークル募集案内なども掲載し、スポーツ活動に参加するきっかけづくりができました。
- ・スポーツボランティアによる一人ひとりへの呼びかけが、チャレンジデーに対する認知度をさらに向上させました。

## 担当者から

今回が3回目の実施ということで、「チャレンジデー」の認知度は既にありましたが、2連敗していることから、「3連敗したら、チャレンジデーの参加権を失うらしい」など、都市伝説的な会話がされたり、様々な場面において、「チャレンジデー」が定着してきたことを実感することができました。

地域プログラムのイベントでは、市内全21地域において開催が実現し、地域コミュニティの活性化が図られました。また、地域にチャレンジデーを推進する組織が立ち上がり、積極的に取り組むなど、チャレンジデーをきっかけとした運動、スポーツの推進を図ることができました。結果として、昨年を上回る参加率で、50%を超えることができましたが、惜しくも達成できなかった「参加者10万人」という目標に向かって、引き続き、体力づくり・健康づくりに向けた意識の醸成に積極的に取り組んでいきたいと思っております。



## 主 催

鳴門市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 泉 理彦)  
鳴門市教育委員会 体育振興室  
〒 772-0003 徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜 31 番地 36  
TEL : 088-686-8804 FAX : 088-686-8005

## 結 果

人 口 : 60,698 人  
参加者数 : 30,295 人  
参加率 : 49.9%  
取得メダル : 銀

徳島県鳴門市 ○  
VS  
岐阜県土岐市 ●

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①開会式・ラジオ体操 (鳴門市市民会館前) 140 人
- ②中国健康体操 (鳴門市うずしお会館) 85 人
- ③カローリング交流会 & 体験コーナー (鳴門市市民会館) 84 人
- ④体操を体験しよう (鳴門市体操場) 82 人
- ⑤みんなで妖怪体操をしよう (鳴門市市民会館) 76 人
  - ・地元ダンススタジオであるダンケスタジオより講師を派遣していただき、子どもたちに人気のある妖怪ウォッチの妖怪体操第一をみんなで踊るイベントを開催しました。
  - ・協力団体として、地元プロスポーツチームである徳島インディゴソックスにもご協力いただき、選手も一緒にダンスを踊り、市民とプロスポーツの交流を図りました。
  - ・会場には、インディゴソックスのマスコットである「Mr. インディー」や、テレビ鳴門のゆるキャラである「ムヤくん」が来場し、鳴門市のゆるキャラである「うずしおくん」「うずひめちゃん」とともに盛り上げてくれました。

### 【アスリート・著名人など】

徳島インディゴソックス (プロ野球独立リーグ四国アイランドリーグ plus) / 徳島ヴォルティス (サッカー J2 リーグ) / 里崎智也 (元千葉ロッテマリーンズ 捕手)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学 / 専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

徳島新聞 / NHK「とく 6 徳島」

## 広報・周知

人が集まるイベントや各種会合等で周知を行い、より効率的に周知を行えるよう、工夫しました。

具体的には、自治振興会等の各種団体の総会や校長会等において PR 活動を実施し、徳島インディゴソックスや徳島ヴォルティスの鳴門でのホームゲーム時にも、電光掲示板や場内アナウンス

での案内、試合前のチラシ配りなどを行いました。

また、量販店に協力いただき、店頭でのチラシ配りや呼びかけを行い、さらに企業への訪問も実施するなど、幅広い年齢層の市民に対してまんべんなく周知を行うことを重視しました。

加えて、例年行っている鳴門市広報紙への掲載や鳴門市広報番組での周知など、役所内での庁内放送による呼びかけも継続して行っております。

以上のような内容で広報活動を行った結果、企業からの参加報告やイベント参加者数は前年より増加しました。

## 製作物

チラシ 30,000 枚 / のぼり 30 本 / タオル 1,250 枚 / バスマスク (市バスによる広報用マスク) 10 枚

## 実施効果

今回で 6 回目の実施となり、チャレンジデーに協力していただける方や団体も年々増加しており、生涯スポーツ、健康づくりのイベントとして、市民に定着してきたように感じています。

チャレンジデーを一過性のイベントに終わらせることなく、市民には、運動やスポーツに取り組む習慣を身につけてもらい「健康づくり」や「体力づくり」につなげられればと思います。

## 担当者から

鳴門市では今年 2 月に「鳴門市スポーツ推進計画」を策定したところであり、計画に沿った新しい取り組みとして、元・プロ野球選手の里崎智也さんに「鳴門市スポーツアドバイザー」を委嘱することとなりました。委嘱式をチャレンジデーの日程に合わせて行い、委嘱式の後にはチャレンジデーのイベントとして野球教室を行うなど、マンネリ化を防ぐべく、目玉となるイベント作りに励みました。

また、イベント数についても昨年より 8 つ増やし、市民が体験したいと思っている種目や、自分に合った運動・スポーツを見つけ出す機会を多く提供できたのではないかと思います。



ストレッチ・ラジオ体操



## 主催

三好市チャレンジデー実行委員会 (委員長 黒川征一)  
いけだスポーツクラブ  
〒778-0002 徳島県三好市池田町マチ 2551-1  
三好市池田総合体育館  
TEL: 0883-72-5755 FAX: 0883-72-5765

## 結果

人口: 28,890人	徳島県三好市	●
参加者数: 17,490人	VS	
参加率: 60.5%	秋田県美郷町	○
取得メダル: 金		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① **チャレンジデーカップグラウンド・ゴルフ大会 (三好市井川グラウンド) 234人**
  - ・市内体育協会加盟団体が企画し、近隣の市町の組織に働きかけ、自主的に運営。市内各所で実施していたグラウンド・ゴルフグループも参加するようになり、交流を深めるなど楽しさを体験しています。
- ② **ヨガにチャレンジ (三好市池田総合体育館) 77人**
- ③ **ソフトバレーボール大会 (三好市池田総合体育館) 75人**
- ④ **ラージボール卓球近隣市町交流試合 (三好市池田総合体育館) 70人**
- ⑤ **簡単体力測定とロコモ度テスト (三好市池田総合体育館) 52人**

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

## メディア

徳島新聞／池田ケーブルネットワーク

## 広報・周知

地元ケーブルテレビの協力で、保育園児によるPR番組を制作し放送したところ、好評でした。次年度からは市内の保育所・幼稚園等と連携して、PRに役立てることを実行委員会にて提案し、実施につなげたいと思います。

## 製作物

チラシ14,000枚／スタッフTシャツ40枚／のぼり30本／スタッフポロシャツ40枚／提供プログラム (阿波踊り体操ロコモ予防編等) 7回放送

## 実施効果

市内各所で、自治会等の自主的な参加が得られるようになりました。'絆'もテーマにしていますが、地域とのつながりを深めようと企業のサテライトオフィスや大学との地域連携オフィスが積極的に参画してくれたことは、健康づくりでまちの活性化に繋がったようです。

## 担当者から

市内の各種団体や機関はもとより、大学との地域連携事業所では、ご当地体操を創作し、近隣住民と合同でエントリーしたり、運営委員会に新たな人材の参加を求めた結果、競技団体が特色を活かした交流プログラムを実施するなど、人々の力が大きくなってきていると感じました。



恒例のグラウンド・ゴルフ大会



親子でチャレンジデー



人気のヨーガ





### 運動参加率競うチャレンジデー 鳴門・三好が出場

人口規模の似た自治体 O市町村で開かれる。体同土が1日15分以上。今年には県内から鳴門運動した住民の割合を、三好両市がエントリー競う「チャレンジデー」をする。

「」が27日、全国133 チョレンジデーは方

入口規模の似た自治 O市町村で開かれる。体同土が1日15分以上。今年には県内から鳴門運動した住民の割合を、三好両市がエントリー競う「チャレンジデー」をする。

「」が27日、全国133 チョレンジデーは方

ナマで始まり、世界各地方で実施されている。スポーツイベント。27日午前0時、午後9時に15分以上継続して運動した住民の参加率を競う。鳴門市は4月末、チャレンジデーをPRする横断幕を市役所前陸橋に掲げ、参加を呼び掛けた。(大城咲)

過去の成績は鳴門市が3勝1敗、三好市は3勝5敗(2011年は東日本大震災のため対象せず、記録のみ集計)。

鳴門市は4月末、チャレンジデーをPRする横断幕を市役所前陸橋に掲げ、参加を呼び掛けた。(大城咲)

2015年5月8日 金曜日 徳島新聞



### 電話で美郷町の松田町長と確闘を誓い合う 黒川市長 三好市役所

あすチャレンジデー

三好・黒川市長 エールを交換

秋田美郷町長と川征一市長が25日、対

体同土が1日15分以上運動した住民の割合を競う「チャレンジデー」が27日に催されるのを前に、三好市の黒川市長と、美郷町の松田町長が電話で会談。2人は電話で会談。松田町長が「3回目の美郷町では、3月に『いきいきスポーツ健康のまち宣言』もしたので、しっかりと頑張ります」と話した。黒川市長は「参加10回目を三好市でも、健康寿命を延ばすべく、4月に県内初の『健康まつり』を実施する」と話した。お互い頑張りをまじうことと約束した。

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界各国で実施される住民参加型のスポーツイベント。今年は27日午前0時から午後9時に全国133の自治体で行われ、県内からは三好、鳴門市が参加する。(佐藤陽香)

2015年5月28日 木曜日 徳島新聞

# チャレンジデー

Let's Try 15min

## 2015年 5月27日(水)

午前0時 → 午後9時

CHALLENGEDAY

～メイン会場～  
三好市池田総合体育館

- ☆ オープニングセレモニー 7:00～
- ☆ 健康チェックと体力測定 終日
- ☆ ニュースポーツにチャレンジ

その他スポーツでん三盛り!!!  
トレーニング室も開放

三好市 vs 美郷町 (秋田県)  
届けましょう、三好市の絆!  
見せましょう、三好市の団結力!  
スポーツの力で、元気をまちづくり!

三好市全体がフィールド  
ご家庭で! 自治会で! 公民館で! 公園で!  
学校で! 事業所で! 等々、  
みんなで参加しましょう♪

15分以上運動をした人は報告してください!!

5月27日(水)の午前7時～午後9時30分の間に集計センターへ報告してください。  
電話・FAXのほか、市内各所に報告用ボックスを設置。

電話番号 72-8801【集計センター直通】 FAX 72-5765

※学校、事業所、各種団体等に所属されている方はダブルカウントにご注意ください。

お問合せ: チャレンジデー実行委員会(三好市池田総合体育館内) TEL: 72-5755 FAX: 72-5765

チャレンジデー PR用チラシ (表面)

#### チャレンジデー2015 in 三好 個人用参加報告用紙

フリガナ	.....
名 前	.....
電話番号 ( ) -	.....
運動内容	..... <small>(例) ウォーキング、体操など</small>

※1日何回運動しても構いませんが、この用紙の提出は1人1枚をお願いします。

#### チャレンジデー2015 in 三好 個人用参加報告用紙

フリガナ	.....
名 前	.....
電話番号 ( ) -	.....
運動内容	..... <small>(例) ウォーキング、体操など</small>

※1日何回運動しても構いませんが、この用紙の提出は1人1枚をお願いします。

#### チャレンジデー2015 in 三好 個人用参加報告用紙

フリガナ	.....
名 前	.....
電話番号 ( ) -	.....
運動内容	..... <small>(例) ウォーキング、体操など</small>

※1日何回運動しても構いませんが、この用紙の提出は1人1枚をお願いします。

#### チャレンジデー2015 in 三好 個人用参加報告用紙

フリガナ	.....
名 前	.....
電話番号 ( ) -	.....
運動内容	..... <small>(例) ウォーキング、体操など</small>

※1日何回運動しても構いませんが、この用紙の提出は1人1枚をお願いします。

平成27年5月27日(水)の午前7時～午後9時30分の間  
に集計センターへ報告してください

報告用 TEL 72-8801 FAX 72-5765  
【集計センター直通】

チャレンジデー PR用チラシ (裏面)

## 主 催

チャレンジデー多度津町実行委員会 (委員長 丸尾幸雄)  
公益財団法人多度津町文化体育振興事業団  
〒764-0011 香川県仲多度郡多度津町栄町3丁目1番9号  
多度津町立中央公民館  
TEL: 0877-33-0760 FAX: 0877-33-0600

## 結 果

人 口: 23,645 人  
参加者数: 14,370 人  
参加率: 60.8%  
取得メダル: 金

香川県多度津町 ○  
VS  
宮城県七ヶ浜町 ●

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①一斉ラジオ体操 (各地区小学校運動場及び千代池周辺他) 3,170 人
  - ・ 早朝 6 時から、各地区小学校運動場及び千代池周辺にてラジオ体操を実施しています。
  - ・ 小学校・自治会及び老人会等に依頼しています。
- ②出張リズムダンス (企業及び幼稚園・保育所、福祉施設) 1,597 人
- ③各種スポーツ交流大会 (町民体育館、小中学校体育館、町内グラウンド) 527 人
- ④買い物ウォーク (町内スーパー) 429 人
- ⑤ファイナルイベント (各地区小学校体育館及び公民館) 294 人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／高齢者施設

## メディア

中讃ケーブルテレビ／インターネット放送局さぬき街ネタ NEWS

## 広報・周知

- ・ 町内にのぼりを設置しました。
- ・ 体育協会、スポーツ少年団、園長校長会、PTA 総会にて PR しました。
- ・ 自治会へチャレンジデーニュースを配布しました。
- ・ スーパー 3 店舗にて PR をしました。

## 製作物

チラシ 9,000 枚／スタッフ T シャツ 57 枚／ポケットティッシュ 1,500 個

## 実施効果

- ・ いろいろな人とチャレンジデーを通して親しくなれました。
- ・ スポーツをする習慣のきっかけとなりました。

## 担当者から

- ・ 準備の段階ではいろいろと大変なこともありますが、チャレンジデー当日に多くの方に参加いただくとうれしくなります。
- ・ 17 年間連続して実施しているので、詳しく説明しなくてもわかってくれる人が多いですが、マンネリ化は感じています。
- ・ 多くの方の笑顔を見られて良かったと思います。



朝の一斉ラジオ体操



自由参加リズムダンス



出張リズムダンス (企業)

### チャレンジデー 丸亀市など参加



マラソンの世界記録を目指してバトンをつなく参加者  
(丸亀市陸上競技場で)

人口規模がほぼ同じ自治体同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」が27日、世界で一斉に開かれた。県内からは丸亀市と多度津町が参加し、多くの住民が早朝からスポーツに汗を流した。

午前0時から午後9時まで、1人15分以上運動した住人の割合を競う大会。人口約11万人の丸亀市は秋田県由利本荘市と、約2万3000人の多度津町は宮城県七ヶ浜町と対戦した。丸亀市陸上競技場では、200メートルトラックを走

2015年5月28日 木曜日 読売新聞

### マラソン「世界新」達成 丸亀でチャレンジデー 36人がリレー



リレー方式でフルマラソン世界記録に挑戦する参加者＝丸亀市新田町、市陸上競技場

住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2015」が27日、全国の130市町村で一斉に行われた。県内は今年も丸亀市と多度津町が参加。子どもからお年寄りまでが自分の体力に合わせて、ラジオ体操やウォーキング、清掃などで体を動かした。

チャレンジデーは住民の健康づくりや地域活性化が目的。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時に15分以上続けて運動やスポーツをした住人の参加率を競う。3年連続出場丸亀市は友好都市の秋田県由利本荘市と、17年連続参加の多度津町は宮城

県七ヶ浜町とそれぞれ対戦した。丸亀市新田町の市陸上競技場では、18歳から61歳までの36人がリレー方式でフルマラソンの男子世界記録に挑戦。強い日差しの下、一周400メートルのトラックに2カ所のバトン中継所を設け、一人が200メートルを全力疾走した。

今治造船陸上部のアドバイサーを務める日本陸連顧問の帖佐寛章さん「土庄町豊島出身も見守る中、延べ211人がバトンをつなぎ、デニス・キメット選手(ケニア)の2時間2分57秒を破る1時間56分11秒の「世界記録」を達成した。

2015年5月28日 木曜日 四国新聞

### ●『チャレンジデー2015』～楽しく参加して、健康増進～

5月27日、「チャレンジデー2015」が町内各所で行われました。チャレンジデーは毎年5月の最終水曜日に、人口規模がほぼ同じ自治体とスポーツ・運動をした人の参加率を競い合う住民参加型のイベントです。

今年は、宮城県七ヶ浜町(人口19,430人)が対戦相手。当日は、一斉ラジオ体操やウォーキングなど、早朝から様々なスポーツイベントが開かれました。またファイナルイベントでは、多くの子どもたちが各小学校の体育館等集まり、長縄跳びや風船パレーなどのみんなで楽しめるスポーツで汗を流しました。

その結果、多度津町の参加率は60.8%となり、実施以来17年連続の金メダルを獲得するとともに、対戦相手に勝利することができました。これからもスポーツ・運動を通して、みんなが健康で元気な多度津町をつくりましょう！



2015年7月 広報たどつ7月号

## 主催

チャレンジデー丸亀市実行委員会 (会長 梶 正治)  
生活環境部 スポーツ推進課  
〒763-0053 香川県丸亀市金倉町924番地1  
丸亀市民体育館内  
TEL: 0877-24-1392 FAX: 0877-24-1309

## 結果

人口: 113,470人 香川県丸亀市 ●  
参加者数: 64,926人 VS  
参加率: 57.2% 秋田県由利本荘市 ○  
取得メダル: 金

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操と見守りウォーキング (城北小学校体育館ほか) 4,981人
  - ・水曜日は城北小学校の集団下校日でもあり、防犯パトロール隊及び地域住民の方々にも協力していただき、15時から小学校体育館でラジオ体操を行い、その後一斉に下校し、各地域まで子どもたちの安全を見守りながらウォーキングを行いました。また、城北幼稚園、平山保育所、土居保育所で退園時の保護者の方々にも加わっていただき、同じようにチャレンジデーに参加していただきました。
- ②地区民ラジオ体操 (栗熊地区内全域) 1,438人
- ③飯山南地区内一斉清掃 (飯山南地区内全域) 1,348人
- ④新緑の風がおる城下町を歩こう (丸亀城及び城下町周辺) 697人
- ⑤健康体操と健康なんでもウォーク (城辰保育所ほか) 550人

### 【アスリート・著名人など】

今治造船株式会社 陸上部 (2014年9月設立) / 帖佐寛章 (日本陸上競技連盟 顧問)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

朝日新聞 / 読売新聞 / 毎日新聞 / 四国新聞 / NHK高松「お昼のニュース」 / 中讃ケーブルビジョン「CVCニュース」

## 広報・周知

市内の地区コミュニティの総会等に出席し、チャレンジデーのPRをしたことにより、自治会や家族単位での報告を受けることができました。

## 製作物

チラシ80,000枚 / スタッフTシャツ252枚 / ポケットティッシュ18,000枚 / 横断幕・懸垂幕1枚 / 結果速報表2枚

## 実施効果

参加報告書の自由記述欄に、チャレンジデーで運動して気持ちよかったのを機に運動を続けようかな、との声があり、運動を始める良い機会になったと思います。

## 担当者から

全市をあげての3回目の挑戦でしたが、まだまだチャレンジデーを知らない市民が多く、市民一人ひとりに行き渡るPR方法を考えていかなければなりません。また、知っていても参加しない方、運動しても報告しない方も多数おり、市全体、市民全員でチャレンジデーに参加する! という機運を高めなければならないと思いました。



親子で和太鼓教室



指を使って頭の体操



丸亀住みます芸人「丸亀じゃんご」と共にウォーキング

## 丸亀市と秋田県由利本荘市 市長同士がエール交換



対戦する由利本荘市の長谷部市長(モニター内)とエールを交換する丸亀市の梶市長＝丸亀市役所

### 27日に「チャレンジデー」

住民総参加型スポーツと、17年連続で参加し、今回は宮城県七ヶ浜町と対戦する多度津町がエントリーした18日、丸亀市の梶市長が対戦相手の秋田県由利本荘市の長谷部誠市長とインターネットのテレビ電話を通じてエールを交換した。

チャレンジデーは、住民の健康づくりや地域活性化などを目的とした全国一斉のイベント。5月の最終水曜日、人口が同規模の自治体同士が、午前0時から午後9時までに15分以上続けて運動した住民の参加率を競う。敗れると、勝った自治体の旗を1週間、役所に掲げなければならない。

今年も全国で計130市町村が取り組む。県内からは、3年連続出場丸亀市77(33)0760。

2015年5月19日 火曜日 四国新聞

## 男子マラソン世界記録 リレーで挑戦 丸亀の陸上競技場



全力疾走でバトンをつなぐ参加者たち＝丸亀市新田町

### 力を合わせて「更新」

1人が1回2000mを担当するリレーで42・195mを走り、男子マラソンの世界記録を上回るという挑戦が27日、丸亀市新田町の市陸上競技場であった。足に自信のある36人が参加。30度近い暑さの中、1時間56分11秒で走りきり、デニス・キメツ選手(ケニア)の持つ2時間2分57秒を「更新」した。

午後9時のスタート時の気温は約29度。参加者は2000mずつ走り、バトンをつないだ。交代で多い人は8回走り、4000mトラックを105周と195m走りきった。

毎日約10kmのジョギングを続けているという最高齢参加者の田中恵一さん(59)は「緊張しましたが、満足です」と笑顔を見せた。丸亀市にある今治造船陸上部の村上紗梨さん(18)は「ウォーミングアップ感覚です。これから部で練習です」と話した。(矢野裕)

### 30度近い暑さ負けず

2015年5月28日 木曜日 朝日新聞

## 世界記録更新？

### 丸亀・多度津でチャレンジデー

住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー2015」が27日、全国の130市町村で一斉に行われた。県内は今年も丸亀市と多度津町が参加。子どもからお年寄りまでが自分の体力に合わせ、ラジオ体操やウォーキング、清掃などで体を動かした。

チャレンジデーは住民の健康づくりや地域活性化が目的。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時〜午後9時に15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率を競う。

3年連続出場の丸亀市は友好都市の秋田県由利本荘市と、17年連続参加の多度津町は宮城県七ヶ浜町とそれぞれ対戦した。

丸亀市・新田町の市陸上競技場では、18歳から61歳までの36人がリレー方式でフルマラソンの男子世界記録に挑戦。強い日差しの下、一周4000mのトラックに2カ所のバトン中継所を設け、一人が2000mずつを全力疾走した。

今治造船陸上部のアドバイザーを務める日本陸連顧問の帖佐寛章さんも見守る中、延べ211人がバトンをつなぎ、デニス・キメツ選手(ケニア)が持つ2時間2分57秒を破る1時間56分11秒の「世界記録」を達成した。



リレー方式でフルマラソン世界記録に挑戦する参加者＝丸亀市新田町の市陸上競技場で

2015年5月28日 木曜日 毎日新聞

## 主催

宿毛市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 沖本年男)  
宿毛市教育委員会 生涯学習課  
〒788-0785 高知県宿毛市山奈町芳奈 4024  
TEL: 0880-66-1467 FAX: 0880-66-1468

## 結果

人口: 21,868人  
参加者数: 5,472人  
参加率: 25.0%  
取得メダル: 銅

高知県宿毛市 ●  
VS  
神奈川県湯河原町 ○

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①いきいき百歳体操 (宿毛文教センター他) 606人
  - ・ 事業所での実施やケーブルテレビを通して誰でも簡単にできる体操を行いました。
- ②グラウンド・ゴルフ大会 (宿毛市総合運動公園) 231人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

高知新聞/読売新聞/スワンTV

## 広報・周知

市内の事業所などを1カ所ずつ参加の依頼に回ったことで、昨年度遅れて参加報告のあった事業所から時間内に報告いただきました。

ケーブルテレビで事前に放送したことにより、テレビを見て参加した人が増えました。

## 製作物

チラシ 13,500枚/横断幕・懸垂幕

## 実施効果

- ・ 体操やウォーキングなどの複数のイベントに参加された方もいて、体を動かすことの楽しさを実感されていました。
- ・ 運動の習慣のない人にも体を動かすきっかけづくりや健康に関心を持ってもらうことができました。
- ・ 対戦相手のことを知るきっかけとなりました。
- ・ 地域住民の交流のきっかけとなりました。

## 担当者から

今年で5回目の実施となったチャレンジデーを無事終わることができ、協力していただいた方々に感謝しています。

ポスターの掲示やチラシの配布、各事業所への訪問件数を増やしたこともあり、大変ではありましたが、昨年度と比べ少しいはありますが参加人数が増えました。各所をまわった成果はあったと感じております。また当日各所に参加の有無の連絡をしたことで参加人数が増えたのではないかと思います。5月の最終水曜日は体を動かす日というのが事業所には浸透してきてはいますが住民に対してはまだまだ浸透していないと感じています。

次回のチャレンジデーでは新聞などのメディアをもっと利用して住民への周知につとめ、体を動かす習慣を身につけていただけたら、と思っています。



グラウンド・ゴルフ大会



ウォーキング



大縄跳び

全国の自治体や地域が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー 2015」が27日、全国130の自治体や地域で行われ、県内で唯一参加した宿毛市(人口2万1868人)は、神奈川県湯河原町(同2万6387人)と対戦。同市は5472人が参加し、参加率は25%と前回は1.9%上回ったが、34.2%だった同町に敗れた。同市は惜しくも勝ちを逃したが、市民らは思い思いのスポーツを楽しんだ。

スポーツ参加率 自治体対決

宿毛湯河原(神奈川)に惜敗

チャレンジデーは、スポーツ振興と健康増進を目的に公益財団法人「笹川スポーツ財団」(東京)が主催し、1993年から始まった。5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上スポーツに取り組んだ人の申告を受けて集計し、人口が同規模の自治体と参加率を競う。

宿毛市は2011年から参加し、今回5回目だが、参加率は2回目の29.4%が最高で、4連敗を喫している。同市出身のトップアスリートも多く、市生涯学習課は、「宿毛市民はスポーツ好きの割合」と、参加目標を人口の35%にあたる8000人に設定。今月に入って職員が手分けして市内のスポーツ団体や町内会など計約400団体を回り、参加を要請したという。

27日、市内各地では、フットサル(市民体育館)や歌謡体操(武道館)など、多種多様なスポーツが行われた。総合運動公園の多目的グラウンドでは、八栗田Vのグラウンドゴルフがあり、市内の高齢者ら29チーム約240人が参加した。

結果を受け、市は総合運動公園に湯河原町の町旗を28日から1週間掲げる。市生涯学習課の津野裕平さん(25)は「スポーツを楽しむ人は増えていることは確かだが、周知が足りなかったのかもしれない。もし、勝ったとしても敬意を表して湯河原町さんの旗を掲げるつもりだったが、勝ちたかったと話していた。」



「チャレンジデー」の一環でグラウンドゴルフを楽しむ市民(宿毛市で)

2015年5月29日 金曜日 読売新聞

## 主催

大牟田市チャレンジデー実行委員会 (会長 坂口健治)  
大牟田市体育協会  
〒836-0861 福岡県大牟田市宝坂町2-86  
大牟田市民体育館内  
TEL: 0944-57-4002 FAX: 0944-57-4002

## 結果

人口: 120,666人  
参加者数: 81,569人  
参加率: 67.6%  
取得メダル: 金

福岡県大牟田市 ●  
VS  
秋田県横手市 ○

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①動物クイズラリー (動物園) 127人
- ②オープニングセレモニー (大牟田市民体育館) 124人
  - ・チャレンジデーのイベントについては、全てのイベントで力を入れておりますが、特に朝7時から行う、オープニングセレモニーに力を入れています。このオープニングセレモニーは、実行委員はもちろん、大牟田市長をはじめ、多くの方々に参加を呼び掛けて実施をしております。
- ③グラウンド・ゴルフ大会 (諏訪公園イベント広場) 107人
- ④チャレンジウォーク (諏訪公園周辺) 107人
- ⑤いきいき体操教室 (大牟田市民体育館) 85人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

朝日新聞/有明新報/日刊大牟田

## 広報・周知

今回のチャレンジデーでは、周知チラシ、ポスター用ステッカーにQRコードを付け、電話での報告だけでなく、携帯電話でも報告をできるようにして実施しました。

## 製作物

チラシ/ポケットティッシュ 7,000個/のぼり 50本/ポスター用ステッカー 300枚

## 実施効果

今回のチャレンジデーでは、前年に比べて報告の件数が増えました。これは、市民にチャレンジデーが浸透している結果だと思えます。

## 担当者から

企業等への協力依頼で訪問した時に、快く受け入れてもらい、企業等に対しても、チャレンジデーの取り組みが非常に浸透していると感じました。



グラウンド・ゴルフ大会



オープニングセレモニー



親子でスキンシップ



# チャレンジデー



会議であいさつする坂口会長

## 今年も秋田県横手市と対戦

5月27日にチャレンジデー  
参加率目標 70%以上

## 今年の相手 強敵中の強敵

住民総参加率スポーツイ参加率六九・七六%で勝利。横手市は今回三回目、O15に向けた大牟田市の参加。前回は六七%の第二回実行委員会が十六、たもの、前々回は七〇%、同日市民体育館研修室の高記録を残している。Bで開かれた。今年五月、口は九万七千五百五十人。秋田県横手市。参加率七〇%以上を目標に、住敵中の強敵。今年は七〇%民や関係団体へ協力を呼び以上を目指して頑張りたい。掛けていくことを決めた。きましよう」とあいさつ。イベントは毎年五月の最終水曜日世界各地で行われる。人口規模がほぼ同じ自治体同士が対戦し、当日に運動してイベントを開催して参加を要する。大牟田市は今年で十回目の参加。前回は東京都小金井市と対戦し、過去最高の

大牟田

2015年4月18日 土曜日 有明新報

# チャレンジデー 70%以上

## 運動で元気な大牟田へ 住民への周知に協力要請

運動で元気な大牟田へ。今月十七日に実施される住民総参加率スポーツイイベント「チャレンジデー2015」に向けた、大牟田市の第...回運営委員会が四月十八日夜、同日市民体育館研修室で開かれた。目標参加率を七〇%以上に掲げ、住民への周知について委員に協力を呼び掛けた。【写真】

チャレンジデーは毎年五月の最終水曜日(全国一斉)に実施されるスポーツイイベント。自治体や地域同市が対戦し、当日に運動してイベントを開催して参加を要する。大牟田市は今年で十回目の参加。前回は東京都小金井市と対戦し、過去最高の



会メンバーに一週間掲げるといふルールがある。有明地域では、今回で十回目となる大牟田市が参...加。対戦相手は三回目の秋田県横手市。大牟田市はこれまで徐々に参加率を上げて、四回目に初の六〇%超えを達成。昨年は過去最高の六八・七六%を記録し、午前七時から同日市民体育館で開かれた。目標参加率を七〇%以上に掲げ、住民への周知について委員に協力を呼び掛けた。【写真】

2015年5月1日 金曜日 有明新報

## きょうチャレンジウオーク みんなで歩こう



有明新報社など共催

老若男女、みんなで日の催しとして、チャレンジウオークが、子どもから高齢者まで楽しめる住民総参加イベント。同日午後六時から、大牟田市の諏訪公園イベント広場で開催される。【写真】

二十五日には大牟田市の同ウオークは同市チャレンジデー実行委員会主催。大牟田商工会議所、大牟田法人会、大牟田観光協会、有明新報社の共催。会議ではコースや案内方法などが話し合われた。当日は会場を散策している人にも参加を呼び掛ける。(牛島亮介)



同ウオークは同市チャレンジデー実行委員会主催。大牟田商工会議所、大牟田法人会、大牟田観光協会、有明新報社の共催。会議ではコースや案内方法などが話し合われた。当日は会場を散策している人にも参加を呼び掛ける。(牛島亮介)

2015年5月27日 水曜日 有明新報

### 主 催

みやこ町チャレンジデー実行委員会 (会長 井上幸春)  
 スポネット TOYOTSU  
 〒 824-0123 福岡県京都郡みやこ町国分 636  
 豊津 B&G 海洋センター  
 TEL : 0930-33-2279 FAX : 0930-33-3257

### 結 果

人 口 : 20,997 人	福岡県みやこ町	○
参加者数 : 14,529 人	VS	
参加率 : 69.2%	北海道名寄市	●
取得メダル : 金		

### プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操&ウォーキング (行政区集会所、公民館等及び学校関係) 約 7,300 人
- ②簡易体力測定 (町内 3 ヲ所の物産販売所) 約 500 人
  - ・握力測定、開眼片足立ち等自分の体力、健康に興味を持ってもらい、来所者、特に町外者の登録を期待して実施しました。
- ③スポネット祭り in チャレンジデー (みやこ町豊津 B&G 体育館) 約 250 人
  - ・餅つき大会、大縄跳び大会、ビンゴゲームで家族、親子での参加を呼びかけました。

### 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

### メディア

朝日新聞

### 広報・周知

- ・みやこ町駐在員全体会議のなかでチャレンジデー実施の主旨説明とポスター、Tシャツを配布。住民への周知を依頼しました。
- ・5月をチャレンジデー月間とし毎水曜日の12時に有線放送にてラジオ体操を流し、チャレンジデー当日の運動参加と報告の励行を呼びかけました。

### 製作物

チラシ 8,500 枚/スタッフTシャツ 240 枚

### 実施効果

- ・対戦相手の名寄市のことを知ることができました。
- ・連続してチャレンジデーを実施していることで、住民の健康づくりの意識は高まってきていると思います。
- ・参加協力依頼で伺った事業所、施設等で行政が行っているサー

ビス、事業等を知ってもらえる機会にもなりました。

### 担当者から

- ・事前の準備で横断幕やのぼりを設置していると、協力頂いている団体、企業をはじめ、町民にも声をかけていただき徐々に浸透していると実感しました。



菖蒲園近辺早朝ウォーキング



ソフトバレーボール交流試合 宣誓!!



ラジオ体操 みんな揃ってますネ



チャレンジデーの27日、屋休みに健康体操をする町職員たち。みやこ町勝山上田

### 運動参加率 みやこ町4連勝

健康づくりを目的に15分以上続けて運動した住民の参加率を自治体同士が競い合う「チャレンジデー2015」が27日にあり、みやこ町が4連勝を果たした。同町は人口規模1万3千人未満の部門に参加、北海道名寄市と対戦した。

27日午前0時〜午後9時に何らかの運動をした住民らが自己申告で報告する。町チャレンジデー実行委員会によると、参加者数は人口2万997人（2月1日現在）に対して1万4529人、参加率は69.2%。過去最高の昨年の参加率70%にはわずかに及ばなかったが、1回目、2回目の

### 北海道名寄市に町旗1週間掲揚

64.8%、62%を上回った。一方、今年が22回目の参加となるベテランの名寄市も多くの市民が参加したが、結果は60.8%。みやこ町は4戦4勝となり、ルールにより名寄市庁舎には、みやこ町の旗が1週間掲げられることになった。

実行委の蔵本清事務局長は「みやこ町の挑戦は4回目だが、合併前の旧3町時代から取り組み、実績がある」と勝因を分析する。しかし、参加率が下がったことはやや不満のようで、「マンネリ化もある。参加を促す新たなイベントの企画も必要」と反省も忘れなかった。（久恒勇造）

## みやこ4連勝なるか

### 27日、相手は「ベテラン」名寄市

住民のスポーツ参加率を同程度の人口規模の自治体同士で競うイベント「チャレンジデー2015」が27日、全国一斉に催され、みやこ町が参加する。参加は4年連続4回目、過去3回とも勝っているが、今年の相手の北海道名寄市は参加22回目の「ベテラン」だ。

スポーツを始めるきっかけ作りや地域の活性化を目的にした住民総参加型イベント。当日は午前0時〜午後9時に15分以上継続して何らかの運動をした住民が「参加」を報告する。

町は参加率向上のため、早朝ウォーキングや体力測定、健康体操、大縄跳び大会などのイベントを予

定。町集計センター（0930・33・2279）が午前8時半〜午後9時に電話などで参加報告を受け付けるほか、町内各地に参加登録用紙の集計箱を設置する。

みやこ町の過去3回の参加率は64.8%、62%、70%と推移。同町が属する人口規模（1万〜3万人未満）の自治体グループでは55%以上が金メダルの授与基準なので、3回とも金に輝いた。負けると、相手自

治体の旗を庁舎のメインポールの1週間掲げる羽目になるルールだ。

名寄市は北海道北部で、もち米は日本一の作付面積、アスパラは道内一の収量を誇る農業都市。通算11勝10敗で今年も参加率65%が目標という。県内では他に大牟田市が参加する。（久恒勇造）

2015年5月22日 金曜日 朝日新聞

2015年5月29日 金曜日 朝日新聞

## 主催

神崎市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 松本茂幸)  
 神崎市教育委員会 社会教育課 スポーツ振興係  
 〒 842-8502 佐賀県神崎市千代田町直鳥 166-1  
 千代田支所  
 TEL : 0952-44-2731 FAX : 0952-44-2152

## 結果

人口 : 32,532 人  
 参加者数 : 19,929 人  
 参加率 : 61.3%  
 取得メダル : 金

佐賀県神崎市 ●  
 VS  
 秋田県湯上市 ○

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①西九州大学ラジオ体操 (西九州大学広場) 620 人  
 ・ 神崎市にある西九州大学に協力していただき、昼休みを利用し、ラジオ体操を実施しました。
- ②ゲートボール大会 (神崎中央公園グラウンド) 450 人
- ③ロープ・ジャンプ・X (市内小中学校) 221 人
- ④ソフトボール大会 (神崎中央公園グラウンド) 153 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会 (千代田グラウンド) 136 人

## 協力・連携

体育協会 / 小学校 / 中学校 / 大学・専門学校 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 婦人会

## メディア

佐賀新聞 / ぶんぶんテレビ

## 広報・周知

イベント実施に向け、区長会での呼びかけやチラシの全戸配布、一週間前の FM ラジオ放送等において、相当の周知がなされていると考えております。

## 製作物

チラシ 20,000 枚 / ポケットティッシュ 1,000 個 / タオル 400 枚 / 横断幕・懸垂幕 6 枚

## 実施効果

実施 6 年目ではありますが、少しでも身体を動かそうとする意識が、確実に浸透している事が実感できました。

## 担当者から

市民には、チャレンジデーというイベントを、身体を動かすためのきっかけにしてほしいのですが、まじめな方に限って、激しい競技スポーツの奨励と勘違いされしまい、その説明には多少苦労しました。



Aパート準優勝 チallengeデーソフトボール大会表彰後～市長(右端)とともに～



チャレンジデー卓球交流会



チャレンジデーソフトバレーボール交流会

## 運動参加「チャレンジデー」 神崎市民挙げラジオ体操

2015年05月28日 12時09分



チャレンジデーでラジオ体操に取り組み職員ら、防災無線で曲を流した＝神崎市役所本庁舎

全国的な市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に合わせ、神崎市は27日、全市民に呼び掛けるラジオ体操を初めて実施した。体操によって市民の健康増進をはかり、医療費や保険料削減につなげることを狙う新規事業に先駆けた取り組み。多くの市民が防災無線で流された音楽に合わせ、爽やかに体を動かした。

この日は午後0時半に市内約120地区に防災無線で参加を呼び掛け、「ラジオ体操第一」の音楽を放送。神崎市本庁舎では、昼食を食べて一息ついた職員約120人が参加した。

同庁舎では朝礼前にも毎日実施しており、総務企画部の職員(32)は「朝より体が動かし、しっかりと汗をかく。昼からの仕事ははかどりそう」と笑顔。社会教育課の担当者は「ちょっとした工夫で平日に運動ができる。いい習慣を付けるきっかけにしてもらえれば」と語った。

チャレンジデーは27日午前0時から午後9時に運動した住民の参加率を、人口規模が近い自治体と競うイベント。今回は潟上市(秋田県)との対戦となり、神崎市はスポーツ炊事や卓球、テニスなど10種目を開催した。

2015年5月28日 木曜日 佐賀新聞 デジタル版

# 神崎市VS潟上市(秋田県) チャレンジデー 2015

5月27日(水) 午前0時～午後9時

主催:神崎市チャレンジデー実行委員会 共催:神崎市 後援:SSF笹川スポーツ財団  
主管:神崎市教育委員会、神崎市体育協会、神崎市スポーツ推進委員協議会

### 住民総参加スポーツイベント



#### 1. チャレンジデーとは?

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ等しい自治体間で午前0時から午後9時までの間に16分以上継続して運動やスポーツ等の身体活動を行った率(参加率(%))を競い合い、取れた場合は対戦相手の自治体の旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚するというユニークなルールによって行われる「まらの威風と名譽」をかけた、住民参加型のスポーツイベントです。今回は、潟上市(秋田県)と対戦します。みなさんと神崎市の名を全国にアピールしましょう!

#### 2. いつでも、どこでも、誰でも楽しく参加できます!

午前0時から午後9時までの間であればいつでも! 神崎市内であればどこでも! 年齢や性別を問わず誰でも参加できます。当日開催されるイベントに参加するのもOK! 家族、職場、地域ぐるみで運動を行うのもOK! 個人で運動してもOKです。その日に神崎市内にいる人であれば、だれでも参加できます。

#### 3. 市民みんなでラジオ体操!

皆さんおなじみの、ラジオ体操をやってみませんか? 健康で爽やかな一日にしましょう!

#### 4. 運動を行ったら必ず報告を!

運動を行った方は、午後9時30分までに集計センターへ電話、FAX、Eメールで報告していただくか、午後9時までに裏面の「参加報告書」を、お近くの集計BOXに入れてください。なお、1人1回限りです。

- ・詳しいイベント内容
- ・集計センターの連絡先
- ・集計BOXの設置場所はチラシの裏面をご覧ください。

#### お問い合わせ先

神崎市チャレンジデー実行委員会 事務局  
TEL: 0952-44-2731  
FAX: 0952-44-2152  
Eメール: k\_challenge-day@city.kanzaki.lg.jp

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

## 楽しくみんなて体を動かそう!!

ちょっとした工夫で  
平日でも運動を行うことができます。  
心と体の健康づくりのために、週に1回の  
運動をはじめてみませんか?

### イベント内容

当日、来ていただくだけで、ご自由に参加できます!! (参加料無料)

- 卓球教室 神崎勤労者体育館アリーナ 10:00~12:00, 14:00~16:00, 16:30~18:30
- 卓球交流会 次郎体育館 14:00~16:00, 20:00~22:00
- 筋力アップ教室 神崎中央公園体育館多目的室 13:30~15:00
- 乳幼児体操教室 千代田町福祉センター 10:00~11:30 (2才児以上の親子)
- 吹き矢教室 神崎勤労者体育館アリーナ 9:00~12:00, 19:00~21:30
- ヴォルテニス教室 神崎中央公園テニスコート 10:00~12:00, 13:00~16:00
- テニス教室 神崎中央公園テニスコート 19:00~21:30
- ヴォルレー交流会 神崎中央公園体育館アリーナ 19:00~21:30

※上記イベント開催中以外の時間は、神崎市内のすべての体育施設を無料開放します! ご利用を希望する方は、施設の手続きをぜひおこなってください。

- 神崎町 52-2750 (神崎中央公園体育館)・53-0011 (B&G体育館)
- 千代田町 44-2731 (千代田支所 社会教育課)
- 腎振町 59-2131 (腎振公民館)

※その他、西九州大学チャレンジデーイベント(昼休み)、ゲートボール大会、ヴォルボール大会、グラウンドゴルフ大会を開催しますので、参加予定の皆さんはよろしくお願ひします。

#### 集計センターへの参加報告先

電話の場合 44-2731      ファックスの場合 44-2152

Eメールの場合  
k\_challenge-day@city.kanzaki.lg.jp

※報告時間は、6:00~21:30です!!

#### 集計BOXの設置場所

神崎中央公園体育館、神崎勤労者体育館、B&G体育館、次郎体育館、腎振勤労者体育館、神崎市役所南新館、千代田支所、腎振公民館

※受付は、8:30~21:00です!!  
(神崎市役所南新館、腎振公民館は8:30~17:15まで)

チャレンジデー参加報告書 個人用		性別	男・女
氏名			
住所			
年齢			
運動の内容			
場所			
備考			

チャレンジデー参加報告書 団体用		性別	男・女
代表者名			
団体名			
参加者数			
運動の内容			
場所			
備考			

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)

## 主催

大村市チャレンジデー実行委員会 (会長 松本 崇)  
市民環境部 地域げんき課 スポーツ振興室  
〒856-8686 長崎県大村市玖島 1-25  
TEL: 0957-53-4111 FAX: 0957-52-6722

## 結果

人口: 94,382 人	長崎県大村市 ●
参加者数: 61,931 人	VS
参加率: 65.6%	秋田県大館市 ○
取得メダル: 金	

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①農道ウォーク「あぜみちウォーク」(市内農地の周辺道路、農道、あぜ道) 3,386 人
- ②大村公園ウォーク (大村公園) 853 人
  - ・チャレンジデー当日は、花菖蒲の季節ということもあり、市内外の多くの観光客が大村公園を訪れていました。その観光客に対し、チャレンジデーを説明し、賛同していただいた方に、大村公園ウォークに参加していただきました。このイベントを通じて市外の方にもチャレンジデーを知っていただき、昨年よりも参加者数を増やすことができました。
- ③木場ウォーキング「木場ウォーク」(町内の周辺道路) 820 人
- ④池田湖畔ウォーク (池田湖公園) 324 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会 (総合運動公園) 280 人

## 【アスリート・著名人など】

V・ファーレン長崎 (サッカー J2 リーグ)

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

長崎新聞/NHK 長崎放送局「イブニング長崎」/長崎国際テレビ「ストレイトニュース」/長崎文化放送「NCC ニュース」/おおむらケーブルテレビ「チャレンジデー 2015」

## 広報・周知

大村市障害者施設ネットワーク協議会のゆるキャラ「べにまるくん」と、大村市のマスコットキャラクター「おむらんちゃん」がコラボレーションし、障害者施設で製造した商品の販売会と、チャレンジデーのPRを行いました。

またチャレンジデー当日には昨年の長崎国体のマスコットキャラクター「がんばくん」と「らんばちゃん」にも様々なイベントでコラボレーションし、チャレンジデーを多くの方に知っていた

だくことができました。

地元ケーブルテレビでは生放送を行い、チャレンジデー当日の様々なイベントのPRを行いました。

チャレンジデー終了後には、当日の参加者数や対戦結果について多くの市民から問い合わせがある等、かなりの周知効果がありました。

## 製作物

チラシ 8,000 枚/スタッフTシャツ 200 枚/ポケットティッシュ 3,000 個/のぼり 20 本/横断幕・懸垂幕 3 枚/オリジナルポスター 200 枚/立て看板 9 枚/ DVD2 枚

## 実施効果

エコウォークではごみ袋を持ってごみの回収も行い、市役所周辺の道路のごみや空き缶などがなくなり、環境的にも非常に良いものとなりました。

健康づくりウォーキングでは、今年の「わんわん対決」のキャラクターにもなっている義犬「華丸」のお墓がある本経寺の前を歩き、華丸を多くの方に知っていただくこともできました。

また、日頃あまり運動をしない市民にも多く参加して頂き、健康づくりだけでなく住民の交流という意味でも大変意義のあるものとなりました。

## 担当者から

大村市は今年で 8 回目の実施となりました。市民のチャレンジデーへの認知度はもちろん、今年は相手が強豪ということもあり市全体で更に気合いを入れて臨みました。

イベントとしては昨年より参加者数も増え、市民の健康増進への関心を高めることができました。


しかし、若い女性や主婦を対象としたイベントがまだまだ少なく、目標である 70%を超えることができなかったため、今後工夫したイベントを増やしていきたいと考えております。

結果としては負けてしまいましたが、市民の健康増進と地域交流に繋げることができました。



おむらんちゃんと一緒にチャレンジゲーム

2015年5月12日 火曜日  
長崎新聞



**広報 おおむら**  
大村市秘書広報課 ☎0957-4111

「チャレンジデー2015」  
参加者募集中！

チャレンジデーは、自治体同士で15分以上継続して健康運動を行った住民の参加率を競うスポーツイベントです。

▼対戦相手：秋田県大館市

▼と き：5月27日（水）午前0時～午後9時

▼と ころ：スポーツ施設、グラウンド、職場、家庭など

▼参加対象：当日市内にいるすべての人。市内に通勤通学している人や観光客の人にも参加できます。

▼参加報告：当日の午後9時30分まで、参加を予定している場合は、事前の報告も受け付けています。

▼報告方法：市ホームページ、電話、ファクス（☎6722）、集計ボックス（市役所、各住民センターなど市内各所に配置）

▼問い合わせ：大村市チャレンジデー実行委員会（地域けんき課スポーツ振興室内・内線1808）

スポーツの力で日本を元気に！ 全国一斉開催

# チャレンジデー2015

長崎県 **大村市**      5月27日（水）  
午前0時から午後9時



勝利に向かって  
がんばるワン！

義犬  
華丸（はなまる）

VS

秋田県 **大館市**



みんなが  
がんばるワン！

忠犬  
はちくん

はちくん……忠犬ハチ公が生まれたまちとして知られている秋田県大館市の観光キャラクターです。

華丸……大村藩家老に愛され、飼い主の死を追って殉じた義犬。華丸の墓は日本最古の史実の犬の墓として本郷寺にあります。

**市民総参加で勝利に向けて頑張りましょう！**  
チャレンジデーは、15分以上の健康運動に参加するスポーツイベントです！

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ自治体同士で午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続してスポーツや運動をした「住民の参加率（%）」を競い合います。負けた場合は、対戦相手の自治体の旗を一週間庁舎のメインホールに掲揚するというユニークなルールによって行われます。

主 催/大村市チャレンジデー実行委員会  
お問合せ/大村市チャレンジデー実行委員会事務局【大村市地域けんき課スポーツ振興室】  
TEL.0957-53-4111（内線187-188） FAX.0957-52-6722



チャレンジデー PR用チラシ



カレー体操



ピラティス体験教室

## 主催

あさぎり町チャレンジデー実行委員会 (委員長 愛甲一典)  
教育委員会

〒868-0408 熊本県球磨郡あさぎり町免田東 1774 番地  
あさぎり町生涯学習センター

TEL : 0966-45-7226 FAX : 0966-45-7227

## 結果

人口 : 16,277人 熊本県あさぎり町 ○ ●  
参加者数 : 7,658人 VS  
参加率 : 47.0% 北海道芦別市 ●  
取得メダル : 銀 秋田県五城目町 ○

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①早朝ウォーキングと体操の集い (町内各所) 122人  
・本町の運動普及推進委員 (スポーツ推進委員とは別) の指導のもと、ラジオ体操とウォーキングを町内5カ所のグラウンドで実施しました。早朝ということもあり参加者数が心配されましたが、昨年の1カ所から5カ所に増やしたことで、多くの方がさわやかな汗をかいていました。
- ②チャレンジデー杯グラウンド・ゴルフ大会 (免田総合体育センターグラウンド) 115人
- ③チャレンジデー杯アジャタ大会 (深田地区体育館) 89人
- ④チャレンジデー杯上支部ビーチボールバレー大会 (上総合運動公園体育館) 76人
- ⑤チャレンジデーバスケットボール教室 (免田地区体育館) 73人

## 【アスリート・著名人など】

熊本ヴォルターズ (バスケットボール NBL)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 文化協会 / 青年団

## メディア

人吉新聞

## 広報・周知

- ・本庁舎1階にいる職員全員がTシャツを着用したことで、町民のチャレンジデーに対する理解が深まり、広報活動の強化を図ることができました。
- ・区長会でチャレンジデーの協力依頼を行ったことで、各区での積極的な運動を行うことができました。
- ・中間速報を行政告知放送を使用して行うことで、積極的に報告を行うよう促すことができました。
- ・ポスターの余白部分にフリーダイヤルを印刷し、どの施設からも報告ができるようにしました。

## 製作物

チラシ7,000枚 / スタッフTシャツ86枚 / FAX報告用チラシ5,700枚 / イベント優勝盾9個

## 実施効果

- ・早朝から体を動かしたことで、すがすがしい気分になったという声がありました。また、友人の誘いにより久しぶりに歩く方も見られました。
- ・アジャタ大会を行ったことで、ニュースポーツの楽しみが広がり、その後のイベントに生かされるようになりました。
- ・昨年からの町内の企業にチャレンジデーの協力依頼を行っており、今年は自発的に取り組む企業が増えました。イベントの浸透を肌で感じることができました。
- ・町内外の様々な団体とスポーツを通じて親睦が深められました。

## 担当者から

チャレンジデー2015を通じて町内外の交流はもちろんですが、スポーツの持つ楽しさやチームワーク、体を動かすことの重要性を感じることができた一日になったと思います。また、このイベントを通じ平日でも運動ができることを再認識し、健康に向けての第一歩になればと思います。

今後も、多くの方にチャレンジデーを知っていただくため、実行委員と連携し、様々なイベントを実施していきたいと思います。また、広報活動のさらなる強化を図り、老若男女誰もが運動を楽しめるイベントも考えていきたいと思っています。



スローエアロビク教室



住民によるウォーキング



# あさぎり町が悲願の1勝

## 住民参加型イベント 山江村は僅差で涙

日常的な運動のきっかけづくりとして、人口の同規模自治体住民の運動参加率を競う「チャレンジデー」が27日、全国130市町村で行われ、人吉球磨からあさぎり町と山江村が参戦した。公益財団法人笹川スポーツ財団、実施自治体主催。

「三つ巴の戦いに挑んだあさぎりの町は、悲願の1勝を果たし通算1勝3敗。山江村は僅差で敗れ、1勝0敗。両町村とも勝敗はさることながら、住民の体を動かす健康意識の高まりに手応えを感じている。午前0時から午後9時までの間、何らかの運動を15分以上継続した住民の参加率を競うイベント。あさぎりの町は、北海道岩手市、秋田県五城目町と対戦。早朝ウォーキングなどへ参加を呼び掛ける一方、町職員が町内3店舗に出入りする子供を呼び寄るなど、結果は参加率47%。



上小学校は「上っ子タイム」を活用(あさぎり町)



美谷だけでなく健康への意識も高まったヨガ教室(山江村)

戸別市を9対上回ったが、五城目町に9・3の差で敗れた。実行委員会事務局の野々脇匠一さん(28)は「昨年より14倍伸び、運動に

「チャレンジデー」は「最高の思い出と汗をぬぐった。」

「山江村は、体育協会各部や各種団体との共催で、村内外から参加を集める多彩な種目を開催。ビーチボールバレー大会は100人以上、ホタル鑑賞ナイトウォーキング大会も30人以上が集まった。また、ヨガ教室や二

「チャレンジデー」は「最高の思い出と汗をぬぐった。」

# 参加率向上へ臨戦態勢

## あさぎり町 27日にチャレンジデー と山江村

全国と同規模自治体が健康へ向けた地域活性化を目的に住民の運動参加率を競う「チャレンジデー」が27日、全国一斉に行われ、熊本県内ではあさぎりの町と山江村が参戦。あさぎりの町は「悲願の1勝」を挙げ、山江村は僅差で敗れた。主催は公益財団法人笹川スポーツ財団、実施自治体主催。

あさぎりの町、山江村は、あさぎり町、山江村をそれぞれ、周知力を入れているなど臨戦態勢に入っている。



子どもたちも「負けたくない」と参戦(昨年、あさぎり中学校で)

あさぎりの町は、昨年、33・6%の参加率を挙げ、山江村は24・5%の参加率を挙げた。あさぎりの町は、今年、あさぎりの町、山江村をそれぞれ、周知力を入れているなど臨戦態勢に入っている。

2015年5月15日 金曜日 人吉新聞

2015年5月28日 木曜日 人吉新聞



上支部ビーチボールバレー大会

## 主催

山江村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 内山慶治)  
山江村教育委員会  
〒868-0092 熊本県球磨郡山江村大字山田甲 1360 番地  
TEL: 0966-23-3604 FAX: 0966-24-6681

## 結果

人口: 3,698 人	熊本県山江村	●
参加者数: 1,593 人	VS	
参加率: 43.1%	秋田県大潟村	○
取得メダル: 銀		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ビーチボールバレー交流大会 (山江村体育館) 109 人
- ②ニュースポーツ (AJTA) 体験 (山田小学校体育館) 67 人
- ③ホテル観賞ナイトウォーキング大会 (山江村万江地区) 54 人
  - ・5月下旬は、当地区においてホテルの観賞シーズンのほぼ最盛期であるため、観賞を兼ねたおよそ3キロメートルのウォーキング大会を実施しました。
  - ・村内よりも村外からの参加者が多く、午後8時頃になるとホテルの乱舞に遭遇し、参加者の間から歓喜の声が上がっていました。
  - ・「山江温泉ほたる」がスタート・ゴールだったので、参加賞として入浴割引券と、山江村内で採取加工された天然水「ありがとう」の配布を行いました。
- ④ヨガ講座 (山江村農村環境改善センター) 34 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会 (山江村中央グラウンド) 30 人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／レクリエーション協会  
／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校  
／事業所・企業／社会福祉協議会／高齢者施設

## メディア

人吉新聞／山江村ケーブルテレビ「やまえ TODAY」

## 広報・周知

前回までの取り組みから工夫した点としては、村内9割の世帯が観賞できるケーブルテレビ上でのCMに熊本県内のタレントを起用したこと、またfacebook等のSNSを活用したウェブ広報にも取り組みました。

特にSNSによる告知は熊本県下では当村とあさぎり町、山都町のみで、チャレンジデー自体の認識が薄い中、口コミで知って村内を訪れて運動したという報告が多数あげられました。

## 製作物

チラシ 1,250 枚／のぼり 20 本／ポスター 20 枚

## 実施効果

- ・チャレンジデーでの取り組みをきっかけに運動を継続していきたいという村民の声がありました。
- ・前回より11ポイントの増、人数にして400人近くも参加人数が増えており、回を重ねるごとに着実に取り組みが浸透していると感じました。
- ・ホテル観賞ナイトウォーキング大会は村外からの参加者が多く、非常に好評で来年も是非実施してほしいというご意見をいただきました。村の豊かな自然環境のPRにも繋がりました。

## 担当者から

今年で3回目の実施となったチャレンジデーとなり、事務局主催イベントの数を前回から大幅に増やしました。

普段から慣れ親しんでいるビーチボールバレーも村外のチームに参加を呼び掛けたり、ニュースポーツとしてAJTA (スポーツ玉入れ) の体験など、より多くの競技に取り組んでもらうきっかけづくりや、スポーツを通じた交流を活性化する目的で企画しました。

参加率としては前回よりも11ポイントの増でしたが、「参加率50%以上」の目標達成に至らなかったため、周知次第ではまだ伸びしろがあると感じました。

準備を進めながら生まれたアイデアも多数ありますが、今年はそのを活かすことができなかったので、来年こそは目標を達成できるように取り組みを進めていきたいと考えています。



100人以上参加したビーチボールバレー交流大会



ホテル観賞ナイトウォーキング大会出発式

### 参加率向上へ臨戦態勢

あさぎり町27日にチャレンジデー  
と山江村

全国と同規模自治体が健康づくりの地域の活性化を目的に住民の運動参加率を競う「チャレンジデー」が7日、全国一斉に行われ、熊本県内ではあさぎり町と山江村が参戦。あさぎり町は、三度目の正面で初の勝利、リベンジに燃える山江村は勝目を自揃し、作戦に余念がない。

チャレンジデーは、毎年5月に実施される住民参加のスポーツイベント。これは全国37都道府県（69市48町13村）が参戦する。公益財団法人笹川スポーツ財団、実施自治体主催。

27日午前0時から午後9時までの間、15分以上連続しラジオ体操など何らかの運動を行った住民の参加率が鍵。当日、参加自治体にいる他地域の人も力ウンとの対象となる。対戦に敗れた自治体は一週間、相手方の市町村旗を庁舎のメインポータルに掲げるルール。実行委員会が職場や学校、各種団体などから連絡を呼び、主催の回スポーツ財団に報告する。

あさぎり町、山江村はそれぞれ、周知力を入れるなど臨戦態勢。あさぎりの町は昨年、33・6％の参加率で秋田県三種町に4・5ポイント差で敗れ、敗者を喫した。



子どもたちも「負けたくない」と参戦（昨年、あさぎり中学校で）

2015年5月15日 金曜日 人吉新聞

### あさぎり町が悲願の1勝

### 「住民参加型イベント」山江村は僅差で涙

日常的な運動のきっかけづくりとして、人口の同規模自治体で住民の運動参加率を競う「チャレンジデー」が27日、全国30市町村で行われ、人吉球磨からあさぎりの町と山江村が参戦し、公益財団法人笹川スポーツ財団、実施自治体主催。

三ツ巴の戦いに挑んだあさぎりの町は、悲願の1勝を喫した。通算1勝3敗、山江村は僅差で敗れ、1勝2敗。両町村とも勝敗はさることながら、住民の体を動かす健康意識の高まりが手応えを感じている。午前0時から午後9時までの間、何らかの運動を15分以上連続した住民の参加率を競うイベント。あさぎりの町は、北海道岩手市、秋田県五城目町と対戦。早朝ウォーキングなどへ参加を呼び掛ける一方、町職員が町内3店舗に2人ずつ出向いて買い物を誘導し、山江村は、体育協会各部や各種団体との共催で、村内外から参加を呼び掛けた。

上小学校（森佳茂校長）では、体力向上に取り組む上ツチタイムを活用。通常より5分延長して15分間、239人の全校児童がクラス別にドッジボール選手権。6年生の上肥田平君（12）は「最高の思い出を創った」。

また、ヨガ教室や二ユースポーツ体験は「チャレンジデー」だけでなく、その後の生活習慣の見直しや行事、交流につなげてほしい」との期待も。実行委員会事務局の村尾映祐さん（30）は「目標の50%が見えるところまで来た。課題をよく分析し、来年に向けて早速、アイデアをまとめた上で話す。戦績は昨年より1・1ポイント上昇したが、秋田県大森村にわずかに4ポイント差を惜しくも敗れた。



上小学校は「上ツチタイム」を活用（あさぎり町）



美容だけでなく健康への意欲も高まったヨガ教室（山江村）

2015年5月28日 木曜日 人吉新聞



ヨガ講座の様子

## 主 催

山都町チャレンジデー実行委員会 (委員長 工藤秀一)  
山都町教育委員会生涯学習課  
〒 861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町 6  
山都町役場 3 階  
TEL : 0967-72-0443 FAX : 0967-72-1081

## 結 果

人 口 : 16,524 人	熊本県山都町 ●
参加者数 : 6,547 人	VS
参加率 : 39.6%	秋田県羽後町 ○
取得メダル : 銀	

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①山都町チャレンジデーオープニングイベント (町営中央体育館) 140 人
  - ・ オープニングイベントでは、アトラクションとして地元の保育園に太鼓の演奏を依頼しました。力強い演奏によって開催に華を添えてもらい、実行委員長による挨拶の後、参加者全員でストレッチや体操を行い、さわやかな汗を流しました。
- ②ふれあいスポーツ体験会 (バドミントン、パワーヨガ、ソフトテニス、ノルディックウォーキング、筋トレ、山都ハイク) (各体育施設等) 113 人
- ③山都町サッカー交流会 (矢部中グラウンド) 30 人
- ④クリーンウォーキング (町内各所)
- ⑤ラジオ体操 (町内各所)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

熊本日日新聞

## 広報・周知

なるべく広い範囲に周知ができるように、各地区の会長、組長、世話係に参加報告の取りまとめ及び周知を依頼しました。また比較的大きな事業所や保育園、学校などへも依頼をしました。その結果、参加率のアップはもちろんのこと各地区、事業所、学校などさまざまな場所で自主的な取り組みがあり、町全体として健康に対する意識付けができました。

## 製作物

チラシ 14,000 枚 / ポケットティッシュ 10,000 個 / のぼり 20 本

## 実施効果

- ・ 住民参加型ということで住民が一体となってイベントに参加することができました。
- ・ 町民から「みんなでできて楽しかった」「体操することで体が軽くなった」などの感想をいただき、目的である健康づくりのきっかけの場を提供することができました。
- ・ 各種イベントを開催したことにより、子どもからお年寄りまで幅広い世代の交流を図ることができました。

## 担当者から

初挑戦ということもあり参加率 50%を目指しました。

実施まではチラシや防災無線、体育協会のネットワーク等を利用し町内各地へ周知を行いました。しかし PR を十分にできていない部分もあり、結果として約 40%の参加率で目標値には届きませんでした。しかし町全体としてさまざまな取り組みがあり、体を動かすことの大切さやスポーツの楽しさを感じていただけたと思います。



オープニングイベント「太鼓演奏」



みんなでストレッチ



クリーンウォーキング

## 住民6547人 汗爽やか



チャレンジデーの開幕イベントで体を動かす参加者！山都町

### 山都町で運動参加イベント

山都町は27日、一日に配布。防災無線を使ったラッシュオ体操や、ごみ拾いをしながら歩く「クリーンウォーキング」などを企画した。町中央体育館での開幕イベントでは、約140人が音楽に合わせて体を動かした。近くの永尾睦子さん(64)は「みんなと一緒に運動して気持ち良かった」と笑顔だった。

チャレンジデーは人口規模が近い自治体同士が、午前0時～午後9時に15分以上運動をした住民の割合で勝敗を決めるイベント。今年も全国130市町村がエントリーし、山都町は秋田県の羽後町と対戦した。

山都町は、参加を呼び掛けるチラシを全戸

2015年5月29日 金曜日 熊本日日新聞

200万人のスポーツイベント

# チャレンジデー

2015

スポーツで元気なまちづくり!!



5月27日(水)  
午前0時⇔午後9時

各種参加イベントのお知らせ

- 【ラジオ体操】防災無線3回放送 ①午前6時 ②午後0時30分 ③午後3時
- 【クリーンウォーキング】各地域でゴミを拾って午後1時30分までに3会場のいずれかにお持ち下さい。
- ① 中央体育館(道の駅通源橋横) ② 清和体育館 ③ 蘇陽総合支所
- 【ふれあいスポーツ体験会】スポーツ推進員が詳しく説明します。
- アジャタ(玉入れ) 卓球 【時間:午前9時～午後3時 場所:浜町体育館】

【対戦相手】秋田県羽後町(うごまち)  
運動をした人の参加率を競います。

人口規模が近い自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上続けて運動やスポーツに参加した数(参加率%)を競います。

山都町の対戦相手は、.....

裏面もご覧ください。



チャレンジデー PR用チラシ(表面)

当日はオープニングイベントを開催します!

- 【時間】午前8時50分～ 【場所】中央体育館(道の駅通源橋横)
- 【内容】8:50 アトラクション(さくらんぼ愛園 園児による太鼓演奏)
- 9:10 開会 / チャレンジデー実行委員長による挨拶
- 9:15 体操
- 9:30 閉会

どなたでも参加OKです!

### ◆お願い◆

#### 1 地区での取り組みについて

活動(運動)内容は、地区にお任せします。15分連続した運動であれば何でも構いません。

#### 2 参加報告について

参加された場合、名簿作成が必要になります。名簿様式は、区長文書を通じて区長、世話役の方々に配布します。区長、世話役毎に参加者の把握を行い名簿作成後、区長に提出してください。区長は、以下の方法で報告をお願いします。なおこれ以外に地区の実情に合わせた提出方法でも構いません。

【報告方法】次の施設に持参されるか FAX でご提出ください。

【▲報告は午後8時30分までとします。】

山都町教育委員会 生涯学習課 (FAX 72-1081)

” 清和分室 (FAX 82-3033)

蘇陽総合支所 総務住民課 (FAX 83-0549)

- クリーンウォーキングで拾ったゴミを各拠点に持参される場合も受け付けます。但し、午前9時から午後1時30分に限りです。

#### 3 クリーンウォーキングについて

【分別方法】「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」の2種類に分別してください。

【納入先】次の施設に必ず持参してください。

- ・中央体育館
- ・清和体育館
- ・蘇陽総合支所 駐車場

【納入時間】午前9時～午後1時30分

これ以外の時間帯に持ち込まれても引き取りできません。

【注意】クリーンウォーキングで拾われたゴミは、地域のゴミステーションには出さなくてください。

この機会に日頃の運動不足を解消しましょう!  
多くの皆さまの参加をお待ちしております!

【お問い合わせ先】山都町チャレンジデー実行委員会事務局(山都町教育委員会 生涯学習課内)

TEL 72-0443 Fax 72-1081

チャレンジデー PR用チラシ(裏面)

### 主 催

宇佐市チャレンジデー実行委員会 (委員長 是永修治)  
 宇佐市教育委員会 社会教育課 スポーツ振興係  
 〒 879-0492 大分県宇佐市大字上田 1030 番地の 1  
 宇佐市教育委員会  
 TEL : 0978-32-1111 FAX : 0978-33-5120

### 結 果

人 口 : 58,800 人	大分県宇佐市 ●
参加者数 : 21,634 人	VS
参加率 : 36.8%	秋田県能代市 ○
取得メダル : 銀	

### プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① チャレンジイベント「みんなでチャレンジ～EX ダンス体操～」  
(宇佐市総合運動場) 1,430 人
- ② 自治区対抗「チャレンジカップ」(市内各自治区内) 1,192 人  
 ・ 市民の参加率を上げるため、チャレンジデーの地域版として実施しました。地域内でのチャレンジデーの浸透を目的に各自治区から事前に参加申込みを受け付けました。27 自治区から申込みがあり、上位は 80% を超えました。次回はより多くの自治区に参加を呼びかけ、チャレンジデーの目的の周知と参加率を上げる取り組みとしても実施したいと思います。
- ③ 総合型地域スポーツクラブ「わっしょい USA クラブ」による各種教室 (ベリーダンス、フラダンス、骨盤美人体操、ヨガ、キッズチア、コア体操、バスケットボール、ストレッチポール&ひめトレ) (児童館「すくすく館」 他) 459 人
- ④ 総合型地域スポーツクラブ「グレートサラマンダー」による各種スポーツ教室 (フットサル、卓球、陸上、ソフトテニス、少年野球、バスケットボール、少女バレー、龍神太鼓、グラウンド・ゴルフ、剣道、柔道、一般バレー) (平成の森公園 他) 373 人
- ⑤ 宇佐グラウンド・ゴルフ大会 (柳ヶ浦ポリテクセンター跡地) 120 人

### 【アスリート・著名人など】

EXILE ÜSA、EXILE TETSUYA (EXILE) / 藤井瑞希 (バドミントン選手 ロンドン五輪 銀メダル)

### 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 障害者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設 / 自治区

### メディア

NHK (E テレ) (E ダンスアカデミー season3)

### 広報・周知

公用車 (スピーカー付) を使用し市内を巡回しました。

### 製作物

チラシ 35,000 枚 / 横断幕・懸垂幕 1 枚

### 実施効果

チャレンジデーをきっかけに運動を毎日行うようになったとの感想を多くいただいています。

### 担当者から

1 ヶ月かけて小学校区毎の自治委員会議場で説明会を実施しましたが、参加率は思ったほど上がりませんでした。



グラウンド・ゴルフ



楽しく踊ろう民謡レクリエーション



社会福祉施設でもみんなで体操

2015年5月20日 水曜日  
大分合同新聞

### 豪華ゲストとスポーツ楽しもう

## 宇佐市と豊後高田市 27日チャレンジデー

宇佐と豊後高田両市は27日、チャレンジデーに参加する。自治体同士でスポーツ対戦イベント「チ」の主催。今年は全国13参加者を迎えるイベント。

0自治体に参加する。人口規模の同じ二つの自治体が対戦。午前0時から午後9時までの間、15分以上運動した自治体は相手自治体の旗を連間、市庁舎に掲げる。

宇佐市では人気グループ「EXILE」や「USA」のライブイベントによるダンス体験イベント（午後6時市総合運動場、ロンドン五輪パドミントン銀メダルリスト・藤井瑞希さん、バドミントン選手・三和酒類スポーツセンター）など、多彩なイベントが計画されている。

参加者は当日午後9時半までに電話やメールなどで市に報告する必要がある。問い合わせは市文化・スポーツ振興課（2009708・321111）へ。

【豊後高田市】今年も相手市豊後高田市と対戦する。当日午前6時から中央公

### チャレンジデー 前にエール交換

#### 宇佐市と秋田・能代市

人口規模の同じ自治体同士でスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」を前に、宇佐市の是永修治市長が19日、対戦相手となる秋田県能代市の斎藤滋宣市長とテレビ電話でエール交換した。

両市は昨年、参加率33%台で対戦相手に敗れた。是永市長が「EXILE」(エグザイル)のメンバーを招待して若者の参加を促すと、意気込みを語る。斎藤市長は「宇佐市は強敵。2年連続で敗れたので、今年こそは頑張りたい」と応じた。

チャレンジデーは27日に行われる。市民らは午前0時午後9時に球技、体操、ダンスなど、好きな運動を15分以上行い、市に報告する。敗れた自治体は、勝者の旗を庁舎で1週間、掲揚する。

2015年5月20日 水曜日 読売新聞

### 必勝へEXILE・USAさんら起用

#### 27日にチャレンジデー 宇佐市、秋田・能代と対戦

1日に15分以上運動をした人の参加率を競う「チャレンジデー」(豊後高田市)が27日にある。今年も参加する宇佐市は、人気グループ「EXILE」のUSAさんとTETSUYAさんらを抱き、参加率アップをはかる。

チャレンジデーは人口の近い地域同士が対戦し、負けると相手の自治体の旗を1週間、掲げなければならぬ。宇佐市は初参加の昨年、参加率33・2%で豊後高田市に敗れた。今年対戦する秋田県能代市は昨年、参加率33・8%。宇佐市は初勝利をめざしている。

参加率アップのため宇佐市は、27日午後3時半から三和酒類スポーツセンターで、ロンドン五輪パドミントン銀メダリストの藤井瑞希さんの「ジュニアパドミントンスクール」を開催。EXILEのUSAさんら2人による「EXILEダンス」は、午後6時から市総合運動場各目的施設で、USAさんは、アルバムのヒットを宇佐市に披露したと称し、ミリオンセラーになったのを機に、交流が深まっている。

19日には、是永修治・宇佐市長と斎藤滋宣・能代市長がインターネットを通じて激励しあった。県内ではほかに豊後高田、豊後大野、佐賀の3市も参加予定。

(一部正誤)

2015年5月20日 水曜日  
朝日新聞

### 主催

杵築市チャレンジデー実行委員会 (代表 永松 悟)  
 杵築市教育委員会文化・スポーツ振興課  
 〒 873-0014 大分県杵築市本庄 2005 番地  
 杵築市文化体育館  
 TEL : 0978-63-5558 FAX : 0978-63-5559

### 結果

人口 : 30,944 人  
 参加者数 : 10,280 人  
 参加率 : 33.2%  
 取得メダル : 銀

大分県杵築市 ●  
 VS  
 秋田県北秋田市 ○

### プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ウォーキング (文化体育館周辺) 186 人
- ②体操 (各企業、団体施設) 146 人
- ③軽スポーツ (レクリエーション、ストレッチ、ヨガ、ダンス等) (文化体育館アリーナ) 139 人
  - ・いつでも、どこでも、誰でも、どなたとでも簡単に、休憩時間のできる体操を 1 日 1 回、気軽に運動していただきたいと実施しました。
- ④新体操 (文化体育館アリーナ) 126 人
- ⑤散歩 (文化体育館周辺) 106 人

### 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / レクリエーション協会 / 総合型地域スポーツクラブ / 民間フィットネスクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設

### メディア

大分合同新聞社 / きつきケーブルテレビ「ど〜んとテレビ」

### 広報・周知

各企業、団体、幼稚園・保育園、小中学校、福祉団体に直接、参加依頼のお願いに行きました。市民にはケーブルテレビで周知し成果が得られたと思います。

### 製作物

チラシ 20,000 枚 / のぼり 300 本 / 横断幕・懸垂幕 4 枚 / のぼりポール 200 本 / のぼり用スタンド 50 個

### 実施効果

実行委員会で、参加人数の目標設定を行いました。初めての取り組みということで、興味を持ち多くの市民の参加が得られたと思います。準備期間が短い中、当初の目標の達成ができたことにスタッフ一同喜んでおります。来年は早めの取り組みを行い、今年以上の成績を目標にして、勝利したいと思います。

### 担当者から

初挑戦ということもあり、どの様に準備、運営や周知をしたらよいか試行錯誤しながら行ってきました。各企業・団体等に参加依頼のお願いに行き、賛同を得たことはよかったです。しかし、市民への周知がうまく行き届かなかったことは、反省しなければならないと思います。



ヨガ教室



市長も一緒にみんなで体操



市長と教育長、一緒に報告



# スポーツ、散歩、掃除...「報告して！」

## チャレンジデー 杵築市が初参戦

杵築市は市民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」(27日)に初挑戦する。12日、イベントを前に、対戦する秋田県北秋田市とエール交換をした。

チャレンジデーは毎川スポーツ財団(東京都)が毎年企画する健康増進

のためのイベントで、今年には130の自治体が参加。規模の同じ二つの自治体で開催日の午前0時から午後9時までの間、15分以上継続して運動をした住民の参加率を競う。負けた自治体は相手自治体の旗を1週間掲げなければならぬ。

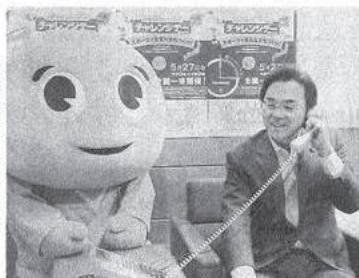
北秋田市の人口は3万4716人。津谷永光同市長と永松悟杵築市長が

27日に市内にいる全ての住民と在勤在学者、観光客が参加対象。内容はスポーツの他に「ワイヌの

### 27日北秋田市と“対戦”



参加を呼び掛ける市文化・スポーツ振興課の職員。杵築市文化体育館



津谷永光北秋田市長と電話でエール交換する永松悟市長

散歩▽ウォーキング▽ラジオ体操▽ストレッチ▽自宅の掃除▽徒歩自転車での通勤通学、買い物なども認められる。運動をしたら同日午後10時までに市文化・スポーツ振興課の専用電話(☎0120・655・055)またはファクス(0978・63・5753)に連絡する。問い合わせは同課(☎0978・63・5588)へ。(菅嶋悠)

## 主催

豊後大野市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 橋本祐輔）  
豊後大野市教育委員会社会教育課  
〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場 1200 番地  
TEL：0974-22-1001 FAX：0974-22-6828

## 結果

人口：38,561人 大分県豊後大野市 ○ ○  
参加者数：19,738人 VS  
参加率：51.2% 宮城県東松島市 ●  
取得メダル：金 沖縄県南城市 ●

## プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①原尻の滝ウォーク（道の駅はらじりの滝周辺）546人
- ②オープニングイベント（市内11ヵ所）510人
  - ・4～6人のチームで100個の玉をいかに短時間でかごに入れるか、そのタイムを競うゲームをしました。チームによっては仮装して参加するなど、どのチームも楽しんで参加できました。
- ③グラウンド・ゴルフ大会（市内8ヵ所）492人
- ④スポーツ玉いれ（緒方中学校体育館）293人
- ⑤ダイエットとスイーツのゆうべ（大原総合体育館メインアリーナ）189人

## 【アスリート・著名人など】

大分三好ヴァイセアドラー（橋本大樹選手、細井規貴選手）（バレーボール・チャレンジリーグI男子）／バサジィー大分（青柳佳祐選手、山口敬太選手、西原信彦選手、田辺陸選手）（フットサルリーグ）／大分トリニータ（津田コーチ、相馬コーチ、岡部コーチ）（サッカーJ2リーグ）／大分ヒートデビルズ（大城弘樹選手、奥本友人選手）（バスケットボールbjリーグ）／ヴェルスパ大分（木島悠選手、姫野昂志選手、岡崎和也選手、楠美圭史選手、姫野宥弥選手、佐藤昂洋選手）（サッカーJFLリーグ）

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設／県内5つのプロ球団

## メディア

大分合同新聞／ケーブルテレビ「情報トレイン・フレッシュレポート」

## 広報・周知

- ・CATVで事前告知出演だけでなくシリーズ化した番組にも出演してチャレンジデーのPRに努めました。また、CATVの中CMも作成、放送することで報告方法のPRができました。（イベントで「チャレンジデーの人だ！」と子どもに声をかけられ

- たり、公民館に来場する方にも、「テレビに出てた人でしょ？」と言われるなど、効果も実感できました。）
- ・音声告知で毎月最終水曜日の朝にラジオ体操を放送しています。チャレンジデー当日は午後3時にも放送しました。また、笹川スポーツ財団に参加率を報告したあと、それを速報値としてお知らせし、さらなる参加・報告の呼びかけを行ったところ、電話報告も増えました。ラジオ体操については、今後も放送回数を増やすなどしてほしいとの要望の電話もたびたび受けていて、健康づくりの意識が高揚してきているように感じます。

## 製作物

チラシ16,000枚／コースター（イベント参加賞として）20,000枚

## 実施効果

- ・少しずつ、市民にチャレンジデーが浸透してきています。健康のための運動習慣についても前向きになっている気がします。
- ・担当課だけが取り組むのではなく、関連する部署も作業部会から加わり、参加についての呼びかけ、周知活動などにも積極的に関わってくれるようになり、それが目標達成の大きなカギであったと思います。
- ・プロ球団との交流はチャレンジデーがあってこそ取り組める事業で、子どもたちにとっても有意義です。今後も続けていきたいと思っています。
- ・チャレンジデーは議会の一般質問などにも取り上げられており、市民一体となって取り組めるとも素晴らしい事業だと思っています。

## 担当者から

- ・全市開催するようになって4年目。今年は市制施行10周年記念という冠事業としたこともあり、ワールドチャレンジデーにも挑戦しました。対戦相手との直接的なやりとりはあまりできなかったものの、市民の関心も高かったように思います。また、共通イベントである「ロープ・ジャンプ・X」に市内全中学校で挑戦しました。後日全国の順位が発表されたことで、「またやるぞー」というリベンジ魂に火がついたように思います。
- ・たくさんの人を動かし、束ねることは非常に難しく、多くの人の協力があったからこそ実施できることを痛感しました。
- ・今年の目標は一応クリアでき、また、多くの人が喜んでくれたのでとてもよかったと思います。
- ・PDCAのCとA・・・実行委員会などで反省点をあげるなどして、さらに充実できるよう検討していきたいと思っています。



早朝ラジオ体操 手、手がつかん・・・



昨年獲得した銀メダルを手に、参加を呼び掛ける市教委職員

豊後大野市は、27日に全国で開かれる市民参加型スポーツイベント「第23回チャレンジデー」に今年も参加する。今回は市制施行10周年を記念して、国内の他に「ワールドチャレンジデー」にもエントリーし、クロアチアのシサク市と対戦する。

あすの「チャレンジデー」で豊後大野市

**「ワールド」にも参戦 相手はクロアチア・シサク市**

チャレンジデーは、同日午 民の問い合わせも増えてお 前0時から午後9時までに、健康寿命を延ばすために (結方、大野町は7時) 15分以上続けて運動をした もぜひ参加してほしい」と話 を実施。その後も▽原尻の滝 ウオーク(同9時・道の駅原 30自治体うち県内は4市 尻の滝周辺)▽スポーツ玉入 が参加予定で、豊後大野市 校体育館 など引の大会・教 は、宮城県松島市と沖繩県 約3万7500人。国内最大 室を開いて参加率アップを図 南城市と三つとも対戦す 果の数多いという。

相対者は「車で買い物を 緒方町が2007年から参 参加申し込みは不要で、大 加している豊後大野市は12 徒歩にするなら、できる範囲 年からは市内全域で取り組ん な軽い運動でも可。当日の 50%以上だと金メダルが授与 だ。3連敗中だが、参加率 時間内に電話やファクス、豊 される。市では獲得して は29.7%、33.1%、42. 後大野市ホームページを いのないのでぜひ実現したい 3%と年々増加している。担 使って、市中央・各町公民館 と話す。問い合わせは市教委 当する市教委社会教育課は に氏名や運動内容を伝え、 (0974・22・1001) 「対戦に勝つ」と同時に、運 動の習慣化も大切な目標。市 また、当日は午前6時20分 へ。(庄亨)

「できる範囲で運動を」

2015年5月26日 火曜日 大分合同新聞



ラジオ体操に続いて太極拳を体験す る市民ら。豊後大野市役所前広場

豊後大野「4度目の正直」

豊後大野市は、27日に全国で開かれた「第23回チャレンジデー」で市民参加率51.2%(1万9973.8人)を記録。沖縄県南城市(45.7%)、宮城県東松島市(45.3%)を上回り、参加4回目まで念願の初勝利を決めた。

同日、15分以上の運動をした市民の人口比率を競うイベント。豊後大野市は朝の各町でのラジオ体操に始まり、軽スポーツ体験やクラフトゴルフ、ミニバレーボールなど38の大会・教室を実施した。

市内三重町の市役所前では、約1000人がラジオ体操に続いて太極拳の基本動作を体験。市

「チャレンジデー」51.2%

放送端末で途中経過流す

太極拳連盟の佐藤俊郎会長(61)「顔写真」の指導でゆったりとした独特の動きを学んだ。

参加率も目標の50%を超え、金メダルを獲得した。市教委の担当者は「全声」に設置している音声放送端末で参加率の途中経過を何度か流したのが功を奏した。企業や福祉施設などの協力も大きかった」と喜んだ。橋本祐輔市長は「市民の気持が一つになって目標を達成できた。これを機に運動で健康増進に取り組みむことを期待している」とコメントした。

クロアチア・シサク市と対戦した「ワールドチャレンジデー」の結果は、約1カ月後に主催者から発表される予定。



参加率も目標の50%を超え、金メダルを獲得した。市教委の担当者は「全声」に設置している音声放送端末で参加率の途中経過を何度か流したのが功を奏した。企業や福祉施設などの協力も大きかった」と喜んだ。橋本祐輔市長は「市民の気持が一つになって目標を達成できた。これを機に運動で健康増進に取り組みむことを期待している」とコメントした。

2015年5月29日 金曜日 大分合同新聞



きつい。。。けど、この後にはスイーツが待ってる！



仮装して張り切って玉投げます！

## 主催

豊後高田市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 永松博文）  
豊後高田市教育委員会 学校教育課  
〒872-1101 大分県豊後高田市中真玉 2144-12  
TEL：0978-53-5112 FAX：0978-53-4731

## 結果

人口：23,539人  
参加者数：16,619人  
参加率：70.6%  
取得メダル：金

豊後高田市 ●  
VS  
岩手県陸前高田市 ○

## プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①ナイトウォーキング（中央公園）273人
- ②トッパスリートによる野球教室（真玉市民グラウンド）200人  
・講師として川崎憲次郎氏、駒田徳広氏をお迎えし、小中学生を対象とした野球教室を実施しました。  
投球指導、捕球指導、打撃指導などを行いました。
- ③オープニングセレモニー（昭和のまちウォーキング）（中央公園）196人
- ④親子サッカー教室（中央公園）150人
- ⑤田染グラウンド・ゴルフ大会（田染中学校）140人

### 【アスリート・著名人など】

川崎憲次郎（元ヤクルトスワローズ・中日ドラゴンズ投手）／  
駒田徳広（元読売ジャイアンツ・横浜ベイスターズ内野手、外野手）

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

## メディア

西日本新聞／大分合同新聞／テレビ大分／大分朝日放送

## 広報・周知

- ・各種団体の会合に赴き、チャレンジデーへの取り組み依頼と報告依頼を行いました。
- ・事業所などに赴き、直接取り組み依頼を行いました。
- ・ケーブルテレビへの出演、市報への掲載、チラシの配布、新聞社への取材依頼等を行い市民への周知を行いました。
- ・チャレンジデー前日と当日に市内にある屋外拡声機を利用し、取り組み状況と参加率の報告を行いました。

## 製作物

チラシ 10,000枚／スタッフTシャツ 75枚／タオル 250枚／スタッフポロシャツ 10枚／チャレンジデーポスター 200枚

## 実施効果

- ・今回で8回目の実施ということで「チャレンジデー」という言葉も浸透しており、本イベントをきっかけにラジオ体操やウォーキングなど、健康づくりに対する意識がさらに高まりました。
- ・一流選手から直接技術指導を受けられる教室を開催したことにより、競技力向上を図ることができたと同時に一流選手との交流を図ることができました。

## 担当者から

陸前高田市との再戦ということで、今回75%を目標に掲げ取り組みました。

元プロ野球選手の川崎憲次郎さん、駒田徳広さんに参加いただき、小中野球部員や参加者とふれあいもできて良かったと感じています。また、目標の75%には届かなかったものの、市民が日頃から行っている運動の延長として多くの参加があったこと、そして「8回目のチャレンジデー」ということで市民にチャレンジデーが浸透していたことで70.6%の参加率を得たと思います。

今回のチャレンジデーをきっかけとして、運動や健康づくりへの関心をさらに高めていただきたいと思います。



オープニングラジオ体操



花いろ健康教室

あす、運動参加率競うイベント  
 全園の二つの自治体同士が、住民の運動参加率を競い合う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が21日開幕。県内では豊後高田市が、東日本大震災で被害を受けた若手県職員高田市の2010年に対決する「高田対決」に臨む。

豊後「高田対決」再び 陸前

陸前では、陸前高田市に物資を送るための支援を行った。豊後高田市は、同市の参加率の目標を50%と設定。元プロ野球選手の川崎敏彦さん(佐伯市)や駒田徳広さんによる野球教室のほか、朝のラジオ体操、ナイトウォーキングなどを実施している。市長は「高田対決」の目標を達成し、運動する機会を増やしたいと意気込んでいる。

2015年5月26日 火曜日 西日本新聞

130市町村がスポーツで対決

27日「チャレンジデー」  
 全園の二つの自治体同士が、住民の運動参加率を競い合う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が21日開幕。県内では豊後高田市が、東日本大震災で被害を受けた若手県職員高田市の2010年に対決する「高田対決」に臨む。

競技は不問、参加率を競う



陸前では、陸前高田市に物資を送るための支援を行った。豊後高田市は、同市の参加率の目標を50%と設定。元プロ野球選手の川崎敏彦さん(佐伯市)や駒田徳広さんによる野球教室のほか、朝のラジオ体操、ナイトウォーキングなどを実施している。市長は「高田対決」の目標を達成し、運動する機会を増やしたいと意気込んでいる。

2015年5月25日 月曜日 日本教育新聞

チャレンジデー



川崎さんの指導も



陸前では、陸前高田市に物資を送るための支援を行った。豊後高田市は、同市の参加率の目標を50%と設定。元プロ野球選手の川崎敏彦さん(佐伯市)や駒田徳広さんによる野球教室のほか、朝のラジオ体操、ナイトウォーキングなどを実施している。市長は「高田対決」の目標を達成し、運動する機会を増やしたいと意気込んでいる。

2015年5月28日 木曜日 大分合同新聞



ナイトウォーキング

## 主 催

諸塚村チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 西川 健)  
諸塚村教育委員会  
〒 883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代 2683  
TEL : 0982-65-0072 FAX : 0982-65-0661

## 結 果

人 口 : 1,902 人	宮崎県諸塚村	●
参加者数 : 1,539 人	VS	
参加率 : 80.9%	秋田県藤里町	○
取得メダル : 金		

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①各公民館一斉清掃 (各公民館) 1,026 人
- ②ゲートボール大会 (村内グラウンド) 203 人
- ③ミニバレーボール大会 (村民体育館他) 135 人
- ④玉入れ大会 (中央公民館) 101 人
  - ・ チャレンジデーに合わせて村内大会を開催し、毎年 6 月には九州大会が本村で開催されます。
  - ・ 北海道和寒町で全国大会が開催される AJTA (アジャタ) の公式ルールで実施しています。

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設

## 広報・周知

公民館活動が盛んな当村では、あらゆる情報伝達を公民館長を通じて行っています。

公民館長会にて事前通知をすることで参加率を安定させていきたいと思っています。

## 製 作 物

チラシ 20 枚 / スタッフ T シャツ 30 枚

## 実施効果

各公民館での一斉清掃活動で当村の環境美化にもつながっています。

また、一つの目標に向け村全体で取り組むことで、連帯意識を再認識する場にもなっています。

## 担当者から

今回は 1 つの目標であった、参加率 80% を達成することができ、大きな成果でしたが、対戦では惜敗となりました。

しかし、対戦相手の藤里町のチャレンジデーに取り組む姿勢は、チャレンジデーに若干慣れ気味の当村には良い刺激となりました。



ミニバレーボール大会



小学校昼休みのドッジボール大会



玉入れ大会

# チャレンジデー2015

150万人の15分間の健康スポーツ・デー

5月27日(水) 村民総参加

全国一斉開催

午前0時～午後9時

諸塚村  
(人口 1,902 人)  
VS  
藤里町  
(秋田県)  
(人口 3,623 人)

2015.5.27



人口は2月1日現在住基人口



健康スポーツ財団は「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進している財団です。

主催: チャレンジデー2015 諸塚村実行委員会

共催: 諸塚村 後援: 諸塚村観光協会 主管: 諸塚村教育委員会・諸塚村スポーツ推進委員会・体育協会

★チャレンジデーは、15分以上の健康運動に参加するスポーツイベントです!

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のユニークな健康づくりのためのスポーツイベントです。午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して運動やスポーツをした「住民の参加率(%)」を競い合います。今回、諸塚村は継続参加し、藤里町(秋田県)と対戦します。ぜひ、みなさんと諸塚村の名を日本国中にアピールしましょう。

★いつでも、どこでも、だれでも、なんでも、楽しく参加できます!

チャレンジデーは、年齢、性別を問わず、だれでも、どこでも、どんなスポーツをしてもOK! 家族ぐるみ、職場ぐるみ、地域ぐるみで参加しても、一人で参加してもOK! その日に諸塚村内にいる人であれば、だれでも、参加する事に意義があります。みなさん一人ひとりが主役です。気軽に楽しい健康づくり運動に参加しましょう!

★健康運動に参加したら必ず実行委員会のFAX/電話番号へ報告を!

チャレンジデーに参加した人は、集計センターに電話またはFAXでご報告願います。報告は午後21時30分まで受け付けます。なお、登録は一人1回限りです。

15分以上運動したら、必ず集計センターFAX65-0661/電話 65-0072 まで報告を!!

チャレンジデー PR 用チラシ

**主 催**

阿久根市チャレンジデー実行委員会 (会長 西平良将)  
阿久根市教育委員会 生涯学習課社会教育係  
〒 899-1628 鹿児島県阿久根市塩鶴町 2-2  
TEL : 0996-72-1051 FAX : 0996-72-3688

**結 果**

人 口 : 22,236 人  
参加者数 : 9,158 人  
参加率 : 41.2%  
取得メダル : 銀

鹿児島県阿久根市 ○  
VS  
栃木県芳賀町 ●

**協力・連携**

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

**広報・周知**

本年度は、チラシ（実施報告書）の市内全戸配布、企業への協力依頼、防災無線、広報誌掲載のほかに、区長会でチャレンジデーの周知及び全ての自治公民館でポスターの掲示を行いました。

**製作物**

チラシ 10,000 枚／スタッフTシャツ 40 枚／のぼり 20 本／横断幕・懸垂幕 1 枚

**実施効果**

個人の方からの報告件数が昨年度より 70 件増えたことにより、市民の方への認知度も上がり、また生涯スポーツの意識付けが図られたのではないかと思います。

さらに、チャレンジデーをきっかけにウォーキングを始めたという方もおり、取り組みの効果も見られました。

**担当者から**

市民の健康増進のためのスポーツ習慣の定着化、生涯スポーツの更なる普及を目指し、「生涯スポーツのきっかけのために」をテーマに掲げ、チャレンジデーを行ってきました。

阿久根市は日頃からの市民の自発的なスポーツ実施を促しており、チャレンジデーの意義について、市民への周知を図ることが参加率を向上させる唯一の手段と考え、昨年度以上に周知に力を入れました。

結果として、参加者 9,158 人、参加率 41.2%と 4 年連続で記録を更新することができました。

今後は参加率 50%を目指し、取り組んでいきたいと思ひます。



阿久根市長によるエール交換



チャレンジデー実施状況（小学校）



チャレンジデー実施状況（幼稚園）



2015年4月  
広報あくね4月号



**5月27日(水)**  
**阿久根市**  
人口 22,236人 (6回目)  
**VS** はがまち  
**栃木県芳賀町**  
人口 16,065人 (3回目)

●参加報告・問い合わせ先  
生涯学習課 ☎0996-72-1051/FAX0996-72-3688

**5月27日(水)はチャレンジデーです!**  
チャレンジデーは、毎月5月の最終水曜日の午前0時～午後9時の間に、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、15分以上継続して運動した住民の参加者を競うスポーツイベントです。  
対戦に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚するユニークなルールがあり、今年は全国130の自治体が参加し、阿久根市は6回目の挑戦になります。

**▽参加方法**  
イベント当日、市内にいる人であれば誰でも、どこでも、どんな運動でも15分以上継続して運動やスポーツなどの身体活動を行えば、参加したことになります。  
(例)ジョギング、ベットの散歩、自転車での買い物など

**▽参加報告**  
参加された方は、氏名(団体名)、参加者数、実施種目、実施時間などの内容を電話またはFAXでお知らせください。



**結果発表!**



**5**月27日に開催された住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の結果は、下表のとおりとなりました。  
昨年と比べ参加者は約1割増え、参加率も過去最高の結果となり、対戦相手である栃木県芳賀町に見事勝利することができました。市民の皆さまには、参加者の報告などご協力いただきました。誠にありがとうございます。

	阿久根市	栃木県芳賀町
参加人数	9,158人 ※昨年度8,659人	6,455人
参加率	41.2% ※昨年度38.4%	40.2%

※本市が勝利したため、芳賀町役場に本市の旗が掲揚されました。なお、詳細な結果は、<http://www.saf.or.jp/practice/challenge/2015/table.html>をご覧ください。

**霧島・阿久根・和泊が勝利**



住民のスポーツ参加率を自治体対抗で競う「チャレンジデー」が27日、全国130自治体が参加して実施された。主催の笹川スポーツ財団によると、県内からは7自治体が参加し、霧島市、阿久根市、和泊町がそれぞれ対戦相手の東日本の自治体に勝利した。

チャレンジデーで清掃ワークをするホテル京セラのスタッフと「ホテル京セラ」=27日、霧島市

午前0時～午後9時にスポーツやウォーキングしながらの清掃など、体を動かす活動を15分以上続けた住民の率を、自己申告をもとに算出。負ければ、相手自治体の旗を1週間掲げる。

霧島市は参加率80.7%（前回57.8%）で、対戦相手の東京都小倉市の75.2%（前回25.9%）を上回り、参加2年目で初勝利。昨年の敗戦を教訓に団体や企業に参加を呼びかけ、南九州ケーブルテレビネットやFMきりしまもPRを繰り返すなどした「組織戦」が実った。

霧島市のホテル京セラは、スタッフ約50人が周辺や天降川沿いを清掃ワーク。30分でペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻や弁当殻を大型ごみ袋6袋分集めた。福永健一社長は「体も動かして環境もきれいに行ける。一石二鳥の地域貢献です」と話した。

日課の早朝ウォーキングと腹筋をした前田終止市長は「市制施行10周年に花を添える勝利。市の一体感を増しながら、市民の健康向上につなげたい」と言う。

阿久根市（41.2%）は栃木県芳賀町（40.2%）に、和泊町（66.3%）は秋田県八郎潟町（62.8%）にそれぞれ勝利。一方、奄美市（46.4%）は秋田県男鹿市（52.5%）に、南さつま市（46.7%）は秋田県湯沢市（51.7%）に、指宿市（47.8%）は茨城県常陸太田市（55.4%）に、南大隅町（57.2%）は北海道新得町（63.7%）に、それぞれ及ばなかった。（中村幸基）

2015年5月29日 金曜日 朝日新聞デジタル版

2015年6月  
広報あくね6月号



**霧島、阿久根市と和泊町勝利**

チャレンジデー

住民のスポーツ参加率を自治体対抗で競う「チャレンジデー」が5月27日、全国130自治体が参加して実施された。主催の笹川スポーツ財団によると、県内からは7自治体が参加し、霧島市、阿久根市、和泊町がそれぞれ対戦相手の東日本の自治体に勝利した。

午前0時～午後9時にスポーツやウォーキングしながらの清掃など、体を動かす活動を15分以上続けた住民の率を、自己申告をもとに算出。負ければ、相手自治体の旗を1週間掲げる。

霧島市は参加率80.7%（前回57.8%）で、対戦相手の東京都小倉市の75.2%（前回25.9%）を上回り、参加2年目で初勝利。昨年の敗戦を教訓に団体や企業に参加を呼びかけ、南九州ケーブルテレビネットやFMきりしまもPRを繰り返すなどした「組織戦」が実った。

霧島市のホテル京セラは、スタッフ約50人が周辺や天降川沿いを清掃ワーク。30分でペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻や弁当殻を大型ごみ袋6袋分集めた。福永健一社長は「体も動かして環境もきれいに行ける。一石二鳥の地域貢献です」と話した。

日課の早朝ウォーキングと腹筋をした前田終止市長は「市制施行10周年に花を添える勝利。市の一体感を増しながら、市民の健康向上につなげたい」と言う。

阿久根市（41.2%）は栃木県芳賀町（40.2%）に、和泊町（66.3%）は秋田県八郎潟町（62.8%）にそれぞれ勝利。一方、奄美市（46.4%）は秋田県男鹿市（52.5%）に、南さつま市（46.7%）は秋田県湯沢市（51.7%）に、指宿市（47.8%）は茨城県常陸太田市（55.4%）に、南大隅町（57.2%）は北海道新得町（63.7%）に、それぞれ及ばなかった。（朝日特約）

チャレンジデーで清掃ワークをするホテル京セラのスタッフ

2015年6月2日 火曜日 読売新聞

## 主催

奄美市チャレンジデー実行委員会 (会長 朝山 毅)  
奄美市教育委員会 市民スポーツ課  
〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町 19-21  
TEL: 0997-52-1111 FAX: 0997-53-9501

## 結果

人口: 45,224人  
参加者数: 20,973人  
参加率: 46.4%  
取得メダル: 銀

鹿児島県奄美市 ●  
VS  
秋田県男鹿市 ○

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ (名瀬運動公園、各公園等) 1,000人
- ②ウォーキング (市内5ヵ所) 800人
- ③ 1,000人ラジオ体操祭 (名瀬小学校校庭) 400人
  - ・学校と連携し、児童、保護者、近隣住民へ文書、広報活動にて呼びかけ、名瀬小学校校庭でラジオ体操を実施しています。今後は、各地区のスポーツ推進委員を中心に、他の学校でも同様のイベントが行えるように進めていきたいと考えています。
- ④大島地区女性マスゲーム講習会 (名瀬総合体育館) 350人
- ⑤バッティングセンターしまかわ無料開放 (しまかわバッティングセンター) 200人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

南海日日新聞/奄美新聞/アマミテレビ「イベントコーナー」/あまみエフエムディ!ウェイヴ「夕方フレンド」

## 広報・周知

昨年から事業所・企業などの直接訪問の件数を増やし、呼びかけを行ったところ、事業所・企業全体にチャレンジデーが浸透しているようで報告件数が大幅に増えてきています。

広報車での広報活動も高齢の方がグラウンド・ゴルフなどを行う時間帯に回るように心掛けたところ、高齢者からの報告も増え、成果が得られたと思います。

## 製作物

チラシ 1,000枚/スタッフTシャツ 220枚/タオル 200枚

## 実施効果

昨年も名瀬小学校校庭で行ったラジオ体操祭は、保護者や児童に浸透しているようで、朝早くから保護者も一緒になって参加していました。朝が早いということもあり、軽い朝食を準備して参加いただいているので、チャレンジデーを通じて保護者と児童と一緒に参加できるイベントとして親子関係にもいい影響があると思われます。

## 担当者から

担当になり、2年目となります。以前は「チャレンジデーは何をするの」とおっしゃる市民がいましたが、毎年浸透しているようで、「今年は昼食時間に会社のみんなでウォーキングを計画しているから」と声を掛けて頂いた企業もありました。

惜しくも対戦相手には負けてしまいましたが目標としている参加率を超えることができ、事務局としては満足のできる結果でした。

市民にチャレンジデーをもっと知って貰い、普段から健康づくりのためにも運動をするきっかけができたこと実感できました。

今後も市民が気軽に参加できるイベントを考案し、健康づくりの意識が高まるよう取り組んでいきたいと思えます。



1,000人ラジオ体操祭



大島地区女性マスゲーム

# スポーツや運動で汗

## チャレンジデー奄美市 ラジオ体操、マスゲームなど



住民参加型イベント「チャレンジデー2015」が開催され、島内各地で多くの人が運動を実践した（27日午前、名瀬小）

住民参加型スポーツなど体を動かすイベント「チャレンジデー」が27日、島内各地で行われ、奄美市からは奄美市（4万5224人）が秋田県男鹿市（3万205人）と、和泊町（6935人）が同県八郎潟町（6324人）と対戦した。奄美地方は好天に恵まれ、ラジオ体操やグラウンド・ゴルフ、ウォーキングなど子どもからお年寄りまでが、それぞれの体力に合わせて心地よい汗を流した。

同イベントでは、ほほ市は今回、秋田県男鹿市と対戦。同市の名瀬小など、奄美市からは奄美市（4万5224人）が秋田県男鹿市（3万205人）と、和泊町（6935人）が同県八郎潟町（6324人）と対戦した。奄美地方は好天に恵まれ、ラジオ体操やグラウンド・ゴルフ、ウォーキングなど子どもからお年寄りまでが、それぞれの体力に合わせて心地よい汗を流した。

今年度のマスゲームには、奄美出身の音楽ユニット「カサリチ」の曲で、第30回国民文化祭のイメージソングになっている「タイムカプセル」を楽曲。参加者は谷村宏美さん（名瀬信愛幼稚園副園長）の指導のもと、地元出身のアーティストの楽曲で音楽に合わせて体を動かす。休憩時

にはほほの疲れを労わるように、笑いあふ姿が見られた。奄美市名瀬から参加したという和泊の女性は、朝ほほと共に行うラジオ体操、午後地城のママ友達と一緒に参加した。大勢で汗を流すのはとても気持ちがいいと話した。他にも、パッティングセンターまかわの施設開放で市内の各所に参加し、多くの人が運動で汗を流した。奄美市の昨年の参加率は43.8%（1万9777人）。詳しい対戦成績などの結果はきょう28日に発表される。

### 27日にチャレンジデー

#### 奄美市が参加呼び掛け

人口規模が同等の自治体は15分以上運動した住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー」が27日に全国各地で行われる。09年から毎年参加している奄美市も、



当日は入会式、ラジオ体操、ゴルフ大会やホームラン体験、午前6時半、名瀬小学校、個人や学校、職場、内線777、奄美市教委、各地でグラウンド・ゴルフ、ウォーキングなどを実施する。

過去の成績は3勝3敗。奄美市教育委員会民スポーツ課は「いつでもどこでも、誰でもが参加してほしい」と話している。問い合わせは電話0997(56)1111、内線777、奄美市教委民スポーツ課。

2015年5月17日 日曜日  
南海日日新聞

2015年5月28日 木曜日 奄美新聞

# スポーツで汗

## チャレンジデー 奄美でも

5月最終水曜日の27日、同じ人口規模の自治体で15分以上継続して運動した住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー2015」が全国各地で行われ、奄美群島からは奄美市（4万5224人）が秋田県男鹿市（3万205人）と、和泊町（6935人）が同県八郎潟町（6324人）と対戦した。奄美地方は好天に恵まれ、ラジオ体操やグラウンド・ゴルフ、ウォーキングなど子どもからお年寄りまでが、それぞれの体力に合わせて心地よい汗を流した。



マスゲームで心地よい汗を流した参加者=27日、奄美市名瀬

2015年5月28日 木曜日 南海日日新聞



市職員大縄跳大会

## 主催

指宿市チャレンジデー実行委員会 (委員長 豊留悦男)  
指宿市教育委員会 市民スポーツ課  
〒891-0404 鹿児島県指宿市東方12000番地  
TEL: 0993-27-0203 FAX: 0993-27-0204

## 結果

人口: 42,570人  
参加者数: 20,354人  
参加率: 47.8%  
取得メダル: 銀

鹿児島県指宿市 ●  
VS  
茨城県常陸太田市 ○

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① 1校1運動 (市内各学校) 4,219人
  - 市内の学校については、教育委員会を通じて校長会や教頭会など機会があるごとに参加協力依頼をしてきたので、ほぼ全児童生徒の参加を得ることができました。今後は、チャレンジデーのみではなく定期的に実施し、常日頃からスポーツを通じた運動ができるようにしていく予定です。
- ② 各自治公民館で健幸チャレンジ体操 (市内自治公民館等) 1,987人
- ③ 市内保育所による自主的運動 (認定こども園含む) (市内保育所等) 1,338人
- ④ 市内ホテル・旅館による自主的運動 689人
- ⑤ 市内公共体育施設昼間無料開放 597人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設/市内ホテル・旅館/漁業組合/建設業組合

## 広報・周知

のぼりの設置場所を工夫しました。約1ヵ月前から通行量の多い交差点付近や、人の出入りが多い公共施設に約100本設置し、チャレンジデーの参加を印象付けました。この方法による効果は大きかったと思います。

## 製作物

チラシ7,500枚/のぼり50本

## 実施効果

今回で3回目の挑戦になりますが、市民が健康になりたいという意識が、このチャレンジデーを通して変わってきているように感じます (昨年より約1,100名増)。市としても「健幸のまちづくり」を推進しているため、市民が「健幸」になるためのきっかけづくりとして、スポーツを通して「健幸」を提供できるよう努めています。

## 担当者から

市民がもっと気軽に参加していただくためのイベントが必要と感じました。老若男女問わず実施できるものや、市内の企業が参加して楽しく汗を流せるイベントや大会など、今後考えたいと思います。

また、参加率の集計について、本市の担当者会で、「今後も対戦方式を実施するとすると、勝敗にこだわり、状況によっては集計方法についての疑義が発生しかねない。そうすると参加する自治体が減少し、チャレンジデーそのものの存続が危惧される。そのためには、一定のルールを設ける必要があると思う。」といった意見が出されました。今後の参考にさせていただければと思います。



あるけあるけ協会主催によるウォーキングの実施



高齢者体操教室



キッズダンス教室

27日に健康増進「チャレンジデー」  
**県内から7市町参戦**  
 対戦地の特産品贈呈も

チャレンジデーに参加した市民に抽選で贈る秋田県湯沢市の特産品。南さつま市役所で市役所に電話がアクセスできる。抽選には、運動をした市民がポイントを書き、抽選でホテル宿泊券などが当たる市の制度を活用。チャレンジデー参加には通常の5倍のポイントを獲得。当日は午後9時までに軽スポーツ体験イベントを開催。

自治体同士がスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」が27日、全国一斉に実施される。全国130市町村が参戦し、鹿児島県内からは7市町が参戦する。対戦相手となる自治体の特産品をプレゼントするなど、自治体は健康づくりへの参加を呼び掛けている。県内組は初陣の南さつま市(約1万5000人)。今回参戦するのは、指宿、霧島、阿久根、奄美、和泊の各市町。当日は午前0時から午後9時、人口規模がほぼ同じ自治体同士が15分間運動した市民の参加率を競う。結果を役所に報告し、抽選でポイントを獲得。抽選には、運動をした市民がポイントを書き、抽選でホテル宿泊券などが当たる市の制度を活用。チャレンジデー参加には通常の5倍のポイントを獲得。当日は午後9時までに軽スポーツ体験イベントを開催。

霧島市役所では18日、前沼終止市長が東京都小井町の稲葉孝彦市長とテレビ電話でエールを交換。両市民の積極的な参加を促すことを確認した。(勝原之、上飯屋美佳、永井直士)

2015年5月22日 金曜日  
 南日本新聞

ISUSUKI  
**まちのお知らせ ピックアップ**

体を動かして健康になろう！  
**みんなで一緒にチャレンジデー**  
 5月27日(水)、15分以上運動して報告を!!

チャレンジデーとは  
 毎年5月の最終水曜日に世界中で行われている市民参加型のスポーツイベントです。0時から21時までの間に、15分間以上継続して運動やスポーツを行った「住民の参加率(%)」を対戦相手の自治体と競います。敗れた自治体は、相手の自治体の旗を庁舎の屋上に掲げるというユニークなルールです。

今年対戦相手は、茨城県常陸太田市。常陸太田市は昨年、51.9%の市民が参加しています。指宿市は参加率50%(約2万1千人)を目標としています。

あなたも参加しよう  
 チャレンジデーには、市民はもろろん、その日市内にいる人なら誰でも参加できます。「今日はチャレンジデーだ」と思って体を動かし、報告するだけで気軽に参加できます。

運動したら報告を!!  
 チャレンジデーは、参加率を競うイベントです。運動した当日の20時までに必ず報告しましょう。

▼報告方法(下の参加報告書)を切り取り、地区や区などに設置した投函箱に入れましょう。

※団体で参加した場合は、代表者が報告してください。  
 ※電話でも構いません。  
 ※報告は1人1回です。

指宿市チャレンジデー実行委員会事務局  
 ☎0995-77-0207  
 ※当日21時までの臨時回線

5月27日(水)は、次の場所で開催しています。無料で参加できます。

時間	内容
14:00~15:00	高齢者体操教室(65歳以上を対象にした介護予防体操) <small>☎市民生活課高齢者支援係 ☎0995-77-0255</small>
18:00~19:00	キッズダンス(小学生以下)
19:30~21:00	軽スポーツ体験 <small>○ドッジボール ○スボリング ○ストラックアウト ○スポーツ歌合 ほか</small>
19:30~21:00	出張健康測定器 <small>○体組成計で筋肉量や骨量、基礎代謝量などが測定できます。</small>

市営陸上競技場

時間	内容
17:30~18:30 <small>(受付17:00~18:00)</small>	100mチャレンジ(先着100人) <small>※スターティングブロックは使用できません。</small>
19:30~20:10	野外エアロビクス(雨天時:サンシティホールいぐすき)

☎市民スポーツ課スポーツ振興係 ☎0995-77-0203

チャレンジデー参加報告書 家庭用

代表者氏名	性別	男・女	年代	地区名	運動内容	活動場所	家族などでの参加人数
							合計 人(本人含む)

2015 広報いづすき 8

2015年5月 広報いづすき5月号

## 主催

霧島市チャレンジデー実行委員会 (委員長 前田終止)  
教育委員会保健体育課

〒899-5192 鹿児島県霧島市隼人町内山田一丁目11番11号  
隼人庁舎

TEL: 0995-42-1117 FAX: 0995-43-5380

## 結果

人口: 127,658人  
参加者数: 103,050人  
参加率: 80.7%  
取得メダル: 金

鹿児島県霧島市 ○  
VS  
東京都小金井市 ●

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①霧島市職員こぎれい大作戦 (霧島市内庁舎7ヵ所近辺) 1,500人
- ②ゆめ・ときめきウォーキング (東九州自動車道 隼人東IC南側干拓地歩道) 541人
  - ・チャレンジデーというイベントを機に、ウォーキングを通じて健康の保持と生きがいの向上に努めるとともに、相互の親睦を深め、高齢者に対する地域住民の理解と関心を高める老人福祉の推進のために開催しました。
- ③南九州地区パークゴルフ協会連合会大会 (福山パークゴルフ場) 243人
- ④国分・福山ゲートボール大会 (国分多目的屋内運動場、まきばドーム) 175人
- ⑤スポーツ推進委員ニューススポーツ体験講座 (隼人体育館、横川体育館) 150人
- ⑥ラジオ体操及びウォーキング (城山公園) 110人
- ⑦ホテル京セラ清掃活動 (天降川沿い) 51人
- ⑧ホームラン競争 (国分海浜公園) 40人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/総合型地域スポーツクラブ/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

朝日新聞/南日本新聞/NHK「ズバツと鹿児島」/MCT南九州ケーブルテレビネット/FM きりしま

## 広報・周知

- ・のぼりを400本作成して、霧島市内7地区のメインストリートに集中的に設置し、否が応でも「チャレンジデー」の文字が市民の目に留まるようにしました。
- ・市内の小中学校に対して、必ず運動して報告していただくように、教育委員会から事あるごとに周知しました。

- ・市内の保育園や幼稚園、大手企業 (京セラ、ソニー) やスポーツジムなどの参加者数が多く見込めるところには、直接訪問に出向き参加協力依頼を行いました。
- ・公民館加入者に対してチラシの全戸配布を行いました。
- ・市内の事業所・団体に対してダイレクトメールを送付しました。(約1,000事業所・団体)
- ・チラシに電子申請システムのQRコードを記載して、参加の報告を簡略化しました。同時に、今年から事前受付を開始しました。
- ・広報車でPR活動を行いました。
- ・各報道機関にお願いしてチャレンジデーのテレビ放送やラジオ放送を何度もしていただきました。

## 製作物

チラシ 72,500枚/のぼり 400本/横断幕・懸垂幕 1枚

## 実施効果

- ・公民館及び自治会単位でまとまって運動を行っていただいたので、地域の一体感をより高めることができました。また、公民館長並びに自治会長に、普段運動をしていない方々にも声をかけていただき、より多くの方にとっての「チャレンジデー」となりました。
- ・様々な民間企業や幼稚園等に出向き、直接顔を合わせてチャレンジデーの協力依頼をしました。依頼を受けた方々がさらに職場や地域の方々にチャレンジデーを周知してくれました。これにより、当日への期待感や、勝利の喜びも共有することができました。結果的に官民一体となりチャレンジデーに取り組む事で市の気運を盛り上げることができました。
- ・スポーツ推進委員が様々な場でスポーツ指導を行い、チャレンジデーを盛り上げたことにより、地域に「スポーツ推進委員」という人たちがいることを市民に知っていただく良い機会となりました。
- ・対戦相手である東京都小金井市と様々なやりとりを行い、交流を深めることが出来ました。

## 担当者から

- ・今回は、霧島市老人クラブやシルバー人材センター等が先導してチャレンジデー当日にイベントを開催してくれました。「チャレンジデーは市民一人ひとりが主役である」ということを参加者一人ひとりが感じてくれたと思います。
- ・今回は、昨年より「報告件数」がやや減少したにも関わらず、「参加人数」が大幅に上昇しました。地域や各事業所及び団体の方々が取りまとめて報告をしたためだと思います。チャレンジデーを周知して、当日取りまとめて報告いただいた代表者の方と、賛同して参加した方々に心より感謝いたします。
- ・当日は、運動をした方々から報告をいただく際に、「頑張ってるね」「勝てるように祈っております」など、激励の言葉を何度もいただき、改めて霧島市民の温かさを実感することができました。

## 市民一体 霧島市が初勝利

**チャレンジデー 参加80.7%**

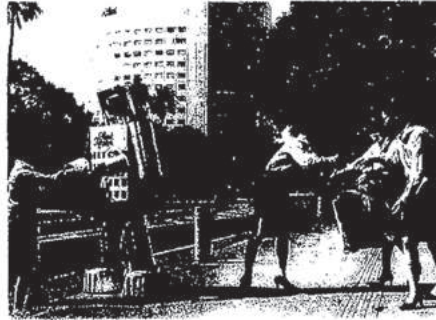
住民のスポーツ参加率を自治体対抗で競う「チャレンジデー」が27日、全国130自治体が参加して実施された。主催の笹川スポーツ財団によると、県内からは7自治体が参加し、霧島市、阿久根市、和泊町がそれぞれ対戦相手の東日本の自治体に勝利した。

### 県内は3勝4敗

午前0時～午後9時にスポーツやウォーキングしながらの清掃など、体を動かす活動を15分以上続けた住民の率を、自己申告をもとに算出。負ければ、相手自治体の旗を1週間掲げる。

霧島市は参加率80.7%（前回57.8%）で、対戦相手の東京都小金井市の75.2%（前回25.9%）を上回り、参加2年目で初勝利。昨年の敗戦を教訓に団体や企業に参加を呼びかけ、南九州ケーブルテレビネットやFMきりしまもPRを繰り返すなどした「組織戦」が実った。

霧島市のホテル京セラ



は、スタッフ約50人が周辺や天降川沿いを清掃ウォーク。30分でペットボトルや空き缶、たばこの殻や弁当殻を大型ごみ袋6袋分集めた。福永健一社長は「体も動かして環境もきれいにできる。一石二鳥の地域貢献です」と話した。

日課の早朝ウォーキングと腹筋をした前田終止市長は「市制施行10周年に花を添える勝利。市の一体感を増しながら、市民の健康向上につなげたい」と言う。

チャレンジデーで清掃ウォークをするホテル京セラのスタッフ＝27日、霧島市

阿久根市（41.2%）は栃木県芳賀町（40.2%）に、和泊町（66.3%）は秋田県八郎潟町（62.8%）にそれぞれ勝利。一方、奄美市（46.4%）は秋田県男鹿市（52.5%）に、南さつま市（46.7%）は秋田県湯沢市（51.7%）に、指宿市（47.8%）は茨城県常陸太田市（55.4%）に、南大隅町（57.2%）は北海道新得町（63.7%）に、それぞれ及ばなかった。

（中村幸憲）

2015年5月29日 金曜日 朝日新聞

## 全国一斉チャレンジデー

### 鹿島7市町18万人運動に汗

人口規模がい自治体同士でスポーツ参加率を競うチャレンジデーが27日、全国一斉に実施され、鹿児島県からは初実施の南大隅町が5市2町が参加し、17万9000人が汗を流した。

### 参加率を競う

南さつま市は、今回から対戦相手と交換し特産品を描き「二石一鳥。特産が当たるとらみんなで分けたい」と話した。

陸奥市の55.4%に届かなかった。霧島市は80.7%で、東京都小金井市の75.2%を相手に白星となった。

（山畑美佳 勝目博之）

2015年5月29日 金曜日 南日本新聞

たがきたい」と応じた。

住民のスポーツ参加率を自治体対抗で競う27日の「チャレンジデー」で対戦する霧島市と東京都小金井市の市長が18日、テレビ電話で対談した。両市長ともに昨年初挑戦し、それぞれ別の市相手に敗退。今回、それぞれ初勝利をめざす。人口は霧島が約12万7000人、小金井が約11万7000人とほぼ同規模だが、総面積は霧島の60.3平方キロに対して小金井は11平方キロだ。



画面を通して小金井市の福葉孝彦市長と語り合う霧島市の前田終止市長

## あす対戦、市長がエール交換

2015年5月26日 火曜日 読売新聞



ホームラン競争



老人クラブウォーキング

## 主 催

南大隅町チャレンジデー実行委員会 (会長 森田俊彦)  
介護福祉課

〒 893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北 226 番地  
南大隅町役場

TEL : 0994-24-3126 FAX : 0994-24-3119

## 結 果

人 口 : 8,169 人  
参加者数 : 4,672 人  
参加率 : 57.2%  
取得メダル : 銀

鹿児島県南大隅町 ●  
VS  
北海道新得町 ○

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①鹿実吹奏楽部 & チアリーディング部による集団演技 (南大隅町体育館) 500 人
- ②チャレンジデー杯ゲートボール大会 (みなと公園) 250 人
- ③ちびノリダー体験教室 (町内全保育園、全幼稚園) 150 人
  - ・わが町、南大隅町は、2020 年の鹿児島国体の自転車競技会場に内定しているため、現在、幼児からの育成に力を入れている状況です。今回は、町内の園児によるペダルなしのストライダー体験試乗会を実施しました。
  - 園児から、保護者まで起伏のあるコースを満喫していたようです。
- ④箱根駅伝選手と一緒に走ろう教室 (南大隅町立根占中学校) 130 人
- ⑤ウォーキングトレーニング (鹿児島県立南大隅高等学校) 125 人

## 【アスリート・著名人など】

木之下翔太 (元中央学院大学駅伝部主将、第 85 回、86 回箱根駅伝出場) / 今村大祐 (ボディクリエイター・ウォーキング講師)

## 協力・連携

競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

南日本新聞 / MBC 南日本放送 (テレビ) 「MBC どーんと鹿児島」 / KTS 鹿児島テレビ 「KTS 大隅フラッシュ」 / MBC 南日本放送 (ラジオ) 「MBC ポニーメイツ」

## 広報・周知

町制施行 10 周年記念イベント事業と位置付けて、半年前から実行委員会を組織し、独自のポスターや町の広報誌での PR、自治会長会や各種団体での総会等に出向いての事業説明などを実施しました。

## 製作物

チラシ / 独自のポスター 1,000 枚 / 対戦相手の町ロゴを使用したポロシャツ 50 枚

## 実施効果

- ・健康づくりへの意識向上
- ・軽スポーツの普及
- ・地域活性化への弾み
- ・異世代交流事業の展開
- ・各種団体との連携
- ・対戦相手を活用した南北交流事業の糸口

## 担当者から

町制施行 10 周年記念事業の一つとして、今回初のチャレンジデー開催となりました。従来の常識から少し目線を変え、イベントを「スポーツ」として捉えるか？または「健康づくり」として捉えるか？と考え、福祉という立場でチャレンジデーに臨みました。

町の総合振興計画に掲げる「子や孫と一緒に暮らせるまち」を念頭に、乳児から幼児、小・中・高校生、一般から高齢者まで幅広いプログラムを実行委員が企画し、町民が少しでも参加しやすいイベントを実施しました。

結果的に、対戦相手の新得町には惜敗したものの、チャレンジデーは町民の関心も十分につかんだと思います。同時に自主組織グループも結成でき、今後の町民イベントでの起爆剤となる組織が出現した感じがします。

初挑戦ということもあり、町民から事務局への集計報告に若干の問題点があったと感じています。再度分析し町民が参加しやすい環境づくりと、スムーズな報告体制を検討したいと思います。

「チャレンジデー」が国際的なイベントとして益々発展することと、町民一人ひとりが主役となる「チャレンジデー」が地域振興に不可欠なものとなるよう願っています。



ちびノリダー体験教室



赤ちゃんハイハイ選手権



2015年5月29日 金曜日  
南日本新聞

全国一斉チャレンジデー

鹿県7市町18万人運動に汗

人口規模に近い自治体同士がスポーツ参加率を競うチャレンジデーが27日、全国一斉に実施され、鹿児島県からは初実施の南大隅町など5市2町が参加し、17万9928人が汗を流した。

南さつま市は、今回から対戦市と交換した特産品を抽選でき一石二鳥。特産品が当た

参加率を競う

つたらみんなで分けたい」と話した。

南大隅町は、北海道新得町と対戦し、57・2%対63・7%で及ばなかった。和泊町は秋田県八郎潟町を相手に、66・3%対62・8%で勝利。阿久根市も栃木県芳賀町に41・2%対40・2%で勝った。

奄美市は46・4%で、秋田県男鹿市の52・5%に、47・8%だった指宿市も茨城県常陸太田市の55・4%に届かなかった。霧島市は80・7%で、東京都小金井市の75・2%を相手に白星となった。

同イベントはスポーツの習慣化や住民の健康づくり、地域の活性化を目的としている。15分以上、ラジオ体操やウォーキング、縄跳びなど何らかのスポーツをした住民の参加率を競う。

(川畑美佳、勝目博之)

チャレンジデー  
多彩な企画挑戦  
南大隅

自治体同士がスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」に初参加した南大隅町は5月



27日、乳幼児はいはいレースからグラウンドゴルフ大会まで老若男女が参加できる多彩な14イベントを準備。保育園児90人はペダルなし自転車体験で汗を流し写真、メイ

イベントでは鹿児島実業高校吹奏楽部の音楽に合わせて住民が体を動かした。

同町は4672人、参加率57・2%で、対戦相手で63・7%だった新得町（北海道）に敗れた。南大隅の実行委員会代表幸福恵吾さん（36）は「参戦してくれた多くの町民に感謝したい。来年はリベンジを目指す」と話した。

(大河平真弘)

2015年6月4日 木曜日 南日本新聞



メインイベント集団演技

**主 催**

チャレンジデー in 南さつま実行委員会 (委員長 本坊輝雄)  
教育委員会 生涯スポーツ課

〒 897-0003 鹿児島県南さつま市加世田川畑 2627 番地 1  
南さつま市民会館

TEL : 0993-53-2111 FAX : 0993-52-0026

**結 果**

人 口 : 36,678 人 鹿児島県南さつま市 ●  
参加者数 : 17,121 人 VS  
参加率 : 46.7% 秋田県湯沢市 ○  
取得メダル : 銀

**プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)**

- ①ウォーキング、校内清掃 (鳳凰高校) 616 人
- ②長縄跳び (加世田小学校) 611 人  
・ 学級ごとに長縄跳びの連続跳び回数を競いました。
- ③校内清掃 (加世田高校) 416 人
- ④カヌー、サイクリング (南薩少年自然の家) 381 人
- ⑤ラジオ体操、リハビリ体操 (光の里) 371 人

**協力・連携**

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／社会福祉協議会／高齢者施設／障害者施設

**メディア**

南日本新聞

**広報・周知**

- ・ 各種協議会、団体等の総会に出向き、チャレンジデーへの参加依頼やチラシ配布を行いました。
- ・ 前回、報告がチャレンジデー当日でなく、翌日にもあり、参加率に反映できなかった自治会も多かったので、各種会合等での説明時には、報告の仕方や時間等について十分に周知しました。
- ・ 報告したら対戦相手である秋田県湯沢市の特産品のプレゼントがあることを、市 HP や新聞、市広報紙および各種会合等で紹介・周知し、関心を集めるように働きかけました。

**製作物**

チラシ 1,500 枚／スタッフTシャツ 60 枚／ポケットティッシュ 1,500 枚／のぼり 100 本／横断幕・懸垂幕 5 枚／大型ポスター (B2 サイズ) 100 枚／テント 1 張／キャップ 50 個

**実施効果**

チャレンジデーに職場の仲間が集まってバドミントン大会を実施したことがきっかけとなり、翌週からも定期的 (週 1 回) に集まって運動するようになりました。

**担当者から**

市制施行 10 周年に伴い「健康元気都市南さつま」の推進に向けて、健康寿命をのばし、市民が健康づくりのきっかけになればとの思いで昨年から参戦しているチャレンジデーです。昨年度は初参戦にも関わらず、参加率 37.1% という好成績でしたが、対戦相手の宮城県東松島市には及ばなかったため、今年度こそは、と強い思いで早くから市の広報紙や各種会合等において、今年のチャレンジデーへの参加を呼びかけました。

宣伝効果もあり、市民の関心も高く、今年度の参加率は 46.7% と前回から 9.6 ポイントも増えるなどの大躍進をしましたが、対戦相手の秋田県湯沢市の 51.7% にはわずかに及びませんでした。しかし、たくさんの方の参加により、健康づくりのきっかけになった手ごたえ十分の素晴らしい日になったと思います。

参加率 80% を超える市がある事実に驚愕しつつ、本市も健康のまちづくりにつながるよう今後もチャレンジデーに参戦します。



ラジオ体操



ふうせんバレー

2015年5月29日 金曜日  
朝日新聞

## 市民一体 霧島市が初勝利

### チャレンジデー 参加80.7%

チャレンジデーで清掃ウォークをするホテル京セラのスタッフ=27日、霧島市

住民のスポーツ参加率を自治体対抗で競う「チャレンジデー」が27日、全国130自治体が参加して実施された。主催の笹川スポーツ財団によると、県内からは7自治体が参加し、霧島市、阿久根市、和泊町がそれぞれ対戦相手の東日本の自治体に勝利した。

### 県内は3勝4敗

午前0時～午後9時にスポーツやウォーキングしながらの清掃など、体を動かす活動を15分以上続けた住民の率を、自己申告をもとに算出。負ければ、相手自治体の旗を1週間掲げる。

霧島市は参加率80.7%（前回57.8%）で、対戦相手の東京都小金井市の75.2%（前回25.9%）を上回り、参加2年目で初勝利。昨年の敗戦を教訓に団体や企業に参加を呼びかけ、南九州ケーブルテレビネットやFMきりしまもPRを繰り返すなどした「組織戦」が実った。

霧島市のホテル京セラ



は、スタッフ約50人が周辺や天降川沿いを清掃ウォーク。30分でペットボトルや空き缶、たばこの吸い殻や弁当殻を大型ごみ袋6袋分集めた。福永健一社長は「体も動かして環境もきれいにできる。一石二鳥の地域貢献です」と話した。

日課の早朝ウォーキングと腹筋をした前田終止市長は「市制施行10周年に花を添える勝利。市の一体感を増しながら、市民の健康向上につなげたい」と言う。

阿久根市（41.2%）は栃木県芳賀町（40.2%）に、和泊町（66.8%）は秋田県八郎潟町（62.8%）にそれぞれ勝利。一方、奄美市（48.4%）は秋田県男鹿市（52.5%）に、南さつま市（46.7%）は秋田県湯沢市（51.7%）に、指宿市（47.8%）は茨城県常陸太田市（55.4%）に、南大隅町（57.2%）は北海道新得町（63.7%）に、それぞれ及ばなかった。

（中村幸恵）

## 27日に健康増進「チャレンジデー」 県内から7市町参戦 対戦地の特産品贈呈も

自治体同士がスポーツの参加率を競う「チャレンジデー」が27日、全国一斉に実施される。全国130市町村が参戦し、鹿児島県内



チャレンジデーに参加した市民に抽選で贈る秋田県湯沢市の特産品  
南さつま市役所

からは7市町が挑戦する。対戦相手となる自治体の特産品をプレゼントするなど、自治体は健康づくりへの参加を呼び掛けている。

県内組は初陣の南大隅のほか、南さつま、指宿、霧島、阿久根、奄美、和泊の各市町。当日は午前0時～午後9時、人口規模がほぼ同じ自治体同士が15分以上運動した住民の比率を競う。参加は自由で、結果を役所に報告する。敗れた自治体は対戦相手の旗を役所のメインボールに1週間掲げる仕組み。

南さつま市は対戦相手の秋田県湯沢市の特産品を抽選で贈り、参加率アップを目指す考え。目標は人口の45%（約16500人）。

今両市は互いの特産品を50品ずつ交換した。湯沢市は日本酒や稲庭うどん、漬物。南さつま市はカボチャ、焼酎、新茶など。運動した後、午後9時半までに市役所に電話かファクスで報告すると、抽選に参加できる。

指宿市は、運動をした市民にポイントを与え、抽選でホテル宿泊券などが当たる市の制度を活用。チャレンジデー参加者には通常の5倍のポイントを贈る。当日は午後9時まで軽スポーツ体験イベントなどを開く。

霧島市役所では18日、前田終止市長が東京都小金井市の稲葉孝彦市長とテレビ電話でエールを交換。両市民の積極的な参加を促すことを確認した。（勝目博之、上飯屋美佳、永井貴士）



長縄跳び

2015年5月22日 金曜日 南日本新聞

**主 催**

和泊町チャレンジデー実行委員会 (会長 伊地知実利)  
和泊町教育委員会 事務局  
〒 891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊 10 番地  
TEL : 0997-92-0300 FAX : 0997-92-2116

**結 果**

人 口 : 6,935 人 鹿児島県和泊町 ○  
参加者数 : 4,600 人 VS  
参加率 : 66.3% 秋田県八郎潟町 ●  
取得メダル : 金

**プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)**

- ①各字対抗ラジオ体操 (各字集会所) 1,447 人
  - ・本町には 21 字の集落があり、集落の人口規模がほぼ同じ集落対抗で参加率を競い合いました。子どもから高齢者までの町民すべての方が参加でき、健康増進の意識を高めるきっかけをつくることができました。
- ②陸上記録会 (和泊中学校校庭) 323 人
- ③幼児一斉体操・わらんちゃ教室 (町民体育館) 271 人
- ④バレーボール大会 (和泊中学校体育館) 155 人
- ⑤グラウンド・ゴルフ大会 (町民運動広場) 149 人

**協力・連携**

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 中学校 / 婦人会

**メディア**

奄美新聞 / SSTV 和泊町有線テレビ

**広報・周知**

SSTV (町内ケーブルテレビ) を活用して、独自の CM を作成し、文字放送を放映しました。また、町民体育館に「チャレンジデー紹介ブース」を設置し、各行事の開催時に PR しました。

**製作物**

チラシ 3,000 枚 / 横断幕・懸垂幕 6 枚

**実施効果**

本町は 12 回目の実施となり、5 月最終水曜日の「チャレンジデー」の認知度は高まってきていることから、町民自ら、早朝ウォーキングやラジオ体操を行い、報告の連絡があります。また、各職場においてもノーカーデーや職場ラジオ体操等を行い、報告をする職場も増加してきています。

今回新たに「ヨガ体験教室」や「ボルダリング体験」という新種目を取り入れて、健康増進の意識の向上や、新しいスポーツ等を始めるきっかけづくりを図ることができました。

**担当者から**

担当者として、チャレンジデーを通じて子どもから高齢者まで幅広くスポーツをする環境を提供できたことが良かったと感じています。一方で、これまでスポーツに関心のなかった方々に、どのようにしてスポーツを始めるきっかけを提供していくかが、これからの課題だと感じました。

平日水曜日の開催となっているため、町民から「毎年参加したいと思っているが仕事があり参加できない」や「休日に開催はできないのか」など意見が多くありました。

チャレンジデーで健康・体力づくり・スポーツをするきっかけづくりを果たした後、継続して行っていく環境の提供についても考えていかなければならないと感じます。



各字対抗早朝ラジオ体操



ヨガ体験教室



ボルダリング体験

# 目指せ参加率80%

## 27日開催 和泊町チャレンジデー

〔沖永良部〕 今月27日、住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2011」が開催される。今年で12年連続参加



八郎潟町と対戦する。午前0時～午後9時の間に15分以上続け、チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に人口規模の同じ自治体同士が、午前0時～午後9時の間に15分以上続け、率を競うイベント。昨年、同町は北海道のゴルフ教室を皮切りに、スポーツゴミ別町)で勝利した。当日は、午前6時、同町教育委員会は「新種目に、ボルダリングとヨガ教室を取り入れた。ボルダリングは、子どもから大人まで楽しめる競技。ぜひ挑戦して欲しい」と話した。

チャレンジデーの参加を呼び掛ける同町教育委員会職員「和泊町」

2015年5月21日 木曜日 奄美新聞

## 主 催

伊江村チャレンジデー実行委員会 (村長 島袋秀幸)  
伊江村 B&G 海洋センター  
〒 905-0502 沖縄県国頭郡伊江村東江前 2371 番地  
伊江村 B&G 海洋センター  
TEL : 0980-49-2929 FAX : 0980-49-2955

## 結 果

人 口 : 4,728 人	沖縄県伊江村	●
参加者数 : 1,771 人	VS	
参加率 : 37.5%	北海道苫前町	○
取得メダル : 銅		

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①朝のラジオ体操 (各区公民館 (8カ所)) 824 人
  - ・朝 6 : 30 から 8 行政区の公民館に住民が集まり、村一円で家族ぐるみでラジオ体操を実施しました。村民誰もが気軽に参加できる企画であり特に力を入れました。
- ②村長とパレード (チャレンジデーの PR を兼ねて役場前から 1.8km ウォーキング) 100 人
- ③スポーツ施設開放 (体協専門部による各球技で交流) (野球場、BG 体育館、伊江中体育館、西小体育館、伊江小グラウンド、ミースイ公園) 445 人
- ④老人クラブ ゲートボール大会 (旅行村ゲートボール場) 206 人

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 小学校 / 中学校 / 事業所・企業 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所

## 広報・周知

- ・1 週間前に村民がよく聴くラジオ番組に出演し、チャレンジデーを PR しました。
- ・村内各家庭へ防災無線放送で周知を図りました。
- ・チラシを各家庭に配布し、イベントの内容や目的の周知を図りました。

## 製作物

チラシ 2,500 枚 / スタッフ T シャツ 75 枚 / のぼり 30 枚 / 横断幕・懸垂幕 20 枚

## 実施効果

初めての挑戦でしたが、村民から好評を得ることができました。自治体対戦形式の結果に多くの関心が寄せられ、次年度も実施する機運が高まりました。

運動の大切さを村民に啓発する参加型のイベントとして、認知を得ることができました。

## 担当者から

初挑戦のイベントを村民に周知し、地域や団体へ理解と協力を得る作業が大変でした。

チャレンジデーが伊江村にとって何故必要かを村民に理解してもらうための広報の内容に工夫が必要だったと感じました。

しかし、参加者から好評を頂き、初挑戦ながら一定の成果をあげることができたと思います。



朝のラジオ体操後に記念撮影



PR パレード



ちびっこ相撲



北海道苫前町の森利男町長と電話でエールを交換する島袋秀幸村長＝22日、伊江村役場村長室

## 初の伊江村「胸借りる」

北海道苫前町と

【伊江】国内最大規模の住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2015」が27日に開催されるのを前に、島袋秀幸伊江村長は22日、対戦相手となる北海道苫前町の森利男町長と電話でエールの交換をした。

午前0時から午後9時まで、15分以上継続してスポーツ、運動を行った住民の参加率を競うもの。伊江村は今回が初参加。電話では互いの町や村を紹介し、島袋村長は「今回は初めての参加で非常に楽しみにしている。ベテラン参加の町に胸を借りるつもりで頑張りたい」と話した。森町長も「北と南の対決で、共に楽しみながら頑張ろう」と健闘を誓った。

(金城幸人通信員)

2015年5月26日 火曜日 琉球新報

# チャレンジデー2015



町村名	北海道苫前町	沖縄県伊江村
実施回数	13回目	初実施
人口	3,377人	4,728人
参加者	1,940人	1,771人
参加率	57.4%	37.5%

自治体間で15分以上継続して運動した住民の参加率を競う「チャレンジデー2015」が5月27日に行われました。伊江村は今回が初参加で、対戦相手の北海道苫前町は13回目のベテラン参加となり、当日は早朝から各区公民館でラジオ体操が行われ、役場職員によるパレード、夕方から村体協の種目ごとにイベントが実施されました。参加率は伊江村が37.5%、苫前町が57.4%で苫前町が勝利しました。来年度もチャレンジする予定ですので、常日頃から健康増進に取り組みしましょう。

	昭和50年 (40年前)	平成7年 (20年前)	平成27年	先月比	5月の 出生 人数
世帯数	1,447	1,979	2,216	2	
総人口	6,084	5,543	4,716	-1	4
男	2,922	2,746	2,379	0	2
女	3,162	2,797	2,337	-1	2

2015年6月 伊江島広報 イーハッチャー 6月号

## 主 催

石垣市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 中山義隆)  
観光文化スポーツ局スポーツ交流課  
〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町14番地  
TEL: 0980-88-6666 FAX: 0980-82-1911

## 結 果

人 口: 48,938 人	沖縄県石垣市	○
参加者数: 23,238 人	VS	
参加率: 47.5%	岩手県北上市	●
取得メダル: 銀		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①チャレンジ迷路 (総合体育館) 732 人
  - ・ 1,200 m<sup>2</sup>のアリーナに4つの軽スポーツを伴う迷路を設置。全市民を対象とし、軽スポーツのミッションをクリアしながら迷路を進み、楽しみながら参加できるよう心がけました。
- ②ナイター陸上競技会 (陸上競技場) 350 人
- ③ちゃ〜はんじゅう体操巡回教室 (巡回先公民館) 164 人
- ④チャレンジデー「ロープジャンプ大会」(総合体育館) 164 人
- ⑤チャレンジデー「ラジオ体操会」(陸上競技場) 100 人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/レクリエーション協会/民間フィットネスクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

## メディア

八重山日報/八重山毎日新聞/石垣ケーブルテレビ「ICTやえやまなウ」/FMいしがきサンサンラジオ「サンサンモーニング」

## 広報・周知

計画した周知・広報活動に加え残曆板設置や市内各所にのぼり、横幕、懸垂幕を設置し、「チャレンジデー」の文字を市民の目に多く触れるようにしました。また、市内全学校や事業所、企業など、各種団体へ直接訪問し説明することで参加増の成果が得られました。

## 製作物

チラシ 10,000 枚/のぼり 40 本/横断幕・懸垂幕 2 枚/残曆板 1 枚

## 実施効果

- ・ チャレンジデーの実施を通して、健康づくり、運動の習慣化への意識を高める機会となりました。
- ・ 友好都市との対戦ということで、北上市の盛り上がりが本市への刺激となり、地域の連帯感が生まれ活性化につながりました。また、友好都市とのさらなる絆も深めることができました。

・ 学校や地域、事業所など独自の取り組みもみられ「チャレンジデー」の認知度の高まりと、市民協働で取り組むイベントとして手応えが得られました。

## 担当者から

「チャレンジデー」の実施は、自治体間の対戦形式で実施されるため勝敗がありますが、健康づくりへの気づき、きっかけを提供することを目的に各関係機関と連携し、協力を頂きながら取り組んでいます。その結果2万人余の市民の参加及び報告があり感謝しております。目標には及びませんでした。一定の成果が得られたと思います。友好都市対戦ということもあり、北上市の担当部署の皆様には大変お世話になりました。この交流を含め両市の絆が一層深まることを期待しています。



石垣市役所 チャレンジデーラジオ体操



チャレンジデーナイター陸上競技会



チャレンジ迷路



2015年4月12日 日曜日  
八重山毎日新聞

「北上市に石垣市の旗を」



昨年、友好都市提携を結び、選手を交わす高橋政隆北上市長（左）と中山義隆石垣市長。今年のチャレンジデーで対戦することになった。＝2014年1月25日午後、市民会館中ホール

チャレンジデー今年も

石垣市は、昨年同様今年もチャレンジデー（後援：スポーツ財団）に参加し、友好都市の草津北上市と対戦することになった。市スポーツ交流課の天久朝副課長は「勝ちます。目標は参加率50%。北上市は石垣市の旗を掲げたい」と意気込みを語った。

同イベントは、人口規模がほぼ同じ自治体同士が対戦し、15分以上運動をした人の参加率で争う。今年も1月27日深夜0時から午後5時まで、参加者は市民会館から、観光客も参加できる。

両市の人口は、石垣が3万5000人、草津が2万8000人。来月に開催

友好都市と初の対決

北上市が月末現在で7万3700人。集計するには、参加者目録が同様に、当日午後9時30分まで報告する必要がある。が、昨年はイベントの翌日に約1000人が参加を報告し、集計に反映できなかった。天久副課長は報告がスムーズにできれば、勝てるという。また「参加者は、自分たちの足跡を残すだけでなく、チャレンジデーを知らせるかたどイベントの告知にも力を入れる」と意気込みを語った。

昨年は埼玉県秩父市（当時6万6000人）と競争し、参加率約60%の対決に対し、石垣市は約50%の1万6000人（大会当日）で敗れた。

このため、チャレンジデーのルールについて、市は取れてから「ラン、戸倉公園交関ポイントに秩父市の市旗を掲げた。

2015年5月26日 火曜日  
八重山毎日新聞

2015 チャレンジデー 開催まであと1日

市民の意欲が勝敗のカギ  
つよいよ明日、目指せ50%

市民会館中ホールで、市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。

- チャレンジデー2015  
《石垣市主催イベント》
- ①オープニングイベントラジオ体操会  
時間 午前6時～7時  
場所 陸上競技場（雨天時屋内練習場）  
対象 全市民  
内容 ラジオ体操第1・2＋ウォーキング
  - ②ロープジャングル大会（申込み受付中）  
時間 午後5時30分～8時  
場所 総合体育館メインアリーナ  
対象 小学生～一般  
内容 大縄跳び、軽スポーツを紹介
  - ③チャレンジ遠路  
時間 午前9時～午後8時  
場所 総合体育館サブアリーナ  
対象 幼児、小学生  
内容 軽スポーツを含めた遠路
  - ④インター陸上競技会（当日受付）  
時間 午後6時～8時  
場所 陸上競技場  
対象 小学生～壮年  
内容 100m、1000m
  - ⑤チャームがんじゅう体操巡回教室（申込み受付中）  
時間 午前10時 午後2時  
場所 各公民館  
対象 中高年男女  
内容 自転車事故で午前、午後の計8教室  
チャームがんじゅう体操の指導
  - ⑥レディースグートボール大会  
時間 午前11時30分～午後12時30分  
場所 老人福祉センター  
対象 一般女子  
内容 市グートボール協会が主催となり実施
  - ⑦ラジオ体操放送  
時間 午後6時  
場所 市内全域  
対象 全市民  
内容 防災無線を活用したラジオ体操放送

●集計ボックス設置場所 市役所・陸上競技場・総合体育館・屋内練習場・市営プール・サッカーパークあかんま・離島ターミナル・ユングレナモール  
●集計センター：石垣市スポーツ交流課 TEL:88-6666/82-1212 FAX:82-1911  
メール:supkou@city.ishigaki.okinawa.jp

健康づくりに2万3000人



ラジオ体操で汗を流す市民ら。17日午前6時30分、石垣市中央運動公園（石垣市港）

チャレンジデーは、市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。

チャレンジデー2015

石垣市が初勝利  
参加率 友好都市北上市上回る

自治体間で行われる運動会に、市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。市民ら約1000人が参加し、石垣市の旗を掲げた。

2015年5月28日 木曜日  
八重山毎日新聞

## 主催

大宜味村チャレンジデー実行委員会 (会長 宮城功光)  
教育委員会

〒905-1392 沖縄県国頭郡大宜味村字大兼久 157 番地  
大宜味村役場

TEL: 0980-44-3006 FAX: 0980-44-3029

## 結果

人口: 3,276人	沖縄県大宜味村 ●
参加者数: 1,355人	VS
参加率: 41.4%	島根県海士町 ○
取得メダル: 銀	

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①各種団体グラウンド・ゴルフ大会 (大宜味小学校グラウンド) 234人
  - ・村内の各種団体 (老人会、婦人会、青年会等) に参加を呼び掛け、8ホール・2コースを用意し、グラウンド・ゴルフ大会を開催しています。チャレンジデー当日で参加規模が一番大きなイベントとなっており、日中から日没までグラウンド・ゴルフを楽しみました。
- ②ウォーキング、ラジオ体操 (各区) 203人
- ③ノルディックウォーキング (県立辺土名高校及び大宜味中学校) 133人
- ④なわとび、バドミントン (塩屋小学校) 72人
- ⑤妖怪体操、しっぽとり (喜如嘉小学校) 50人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/高齢者施設/障害者施設

## メディア

琉球新報

## 広報・周知

地元紙の新聞記事に掲載して頂くことで村内外から問い合わせがあり、その中には他市町村の議員が大宜味村まで足を運んで実施状況等を聞きに来るケースもありました。

役場庁舎職員を中心に近辺にいる出先機関職員も約1ヵ月前からチャレンジデーが開催される水曜日に合わせて、毎週水曜日はチャレンジデーTシャツの着用を推奨し、PRに繋げることができました。

また、村の広報誌及び教育委員会広報誌「あじま〜」に参加呼びかけや事前のイベント情報を掲載することで参加率アップに繋がったと考えています。

## 製作物

チラシ/スタッフTシャツ 30枚/ポケットティッシュ 1,000個  
/のぼり 40本/横断幕・懸垂幕 10枚/STAFFジャンパー 10枚

## 実施効果

地域住民の運動やスポーツに対する意識または関心が少しずつ、高まってきています。

チャレンジデー開催に向けての各種団体の取り組みがみられ、連携強化に繋がっていると感じます。

## 担当者から

昨年は初挑戦ということもあり、手探り状態でチャレンジデー当日を迎えたのですが、今回は各種団体の組織力を上手く活かすことができ、参加率アップに繋がったと思います。

多くの参加者を得るにはそれぞれの組織の更なる連携強化等がまだまだ必要ですが、地域住民の運動に対する意識も今後さらに高まれば、健康増進・体力づくりに繋がり「健康長寿」の復活になるのではないかと考えます。

また、規模が大きくなっていくに従って、各組織の役割や、一部の取り組み負担の分散等も今後の課題になってくると感じています。



大縄跳び



村内でのグラウンド・ゴルフ大会

あす、運動参加競うチャレンジデー

対戦相手とエール交換

大宜味村の  
目標は50%

島根県海士町と

【大宜味】自治体同士で、15分以上継続して運動した住民の割合を競う「チャレンジデー2015」に参加する大宜味村の宮城功光村長は25日、対戦相手の島根県海士町の澤田恭一副村長とエールを交換し合った。チャレンジデー本番は27日。

2町村は人口4999人以下のカテゴリーに出場する。ことし7月時点で、大宜味村の人口は3276人で、海士町は2342人。大宜味村は昨年初めて参加したが、大会常連の北海道苫前町に敗れた。今回対戦する海士町も11

回目の参加となる常連で、昨年は住民参加率は60%だった。大宜味村は今回の目標参加率を50%に定め、広報誌や防災無線などで参加を呼び掛けている。

大宜味村では27日午前6時45分、防災無線を使ったラジオ体操から始め、町内各地でグラウンドゴルフ大会やノルディックウォーキング、リズム体操、バレーボールなどを実施する。

村は1993年に健康な高齢者の割合が最も高い「長寿日本」を宣言したが、現在は村民の健康維持向上を課題としている。そのため、宮城村長は「チャレンジデーを通して、長寿の村を復活させるきっかけになりたい」と意気込んだ。



2度目のチャレンジデー参加に意気込む宮城功光村長（前列左から3人目）ら。25日、大宜味村役場

2015年5月26日 火曜日 琉球新報



ノルディックウォーキング体験

## 主催

豊見城市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 宜保晴毅）  
豊見城市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

〒901-0292 沖縄県豊見城市翁長 854-1  
豊見城市役所

TEL：098-850-3591 FAX：098-850-1860

## 結果

人口：61,716人 沖縄県豊見城市 ●  
参加者数：9,384人 VS  
参加率：15.2% 福島県伊達市 ○  
取得メダル：銅

## プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①ロープ・ジャンプ・X（市内各小学校体育館）556人  
・今回は初開催でしたので、小学6年生の卒業の思い出になればと、市内各小学校の体育館で開催しました。想定より参加者数が少なかったものの、取り組んでいる子どもたちは笑顔があふれていたとの報告を受け、嬉しく思っています。
- ②空き缶積み上げ（豊見城市民体育館）12人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／婦人会／社会福祉協議会／体育施設指定管理者（市民体育館）

## 広報・周知

- ・チラシを作成して市内量販店やスーパーマーケット、コンビニエンスストアに店内の掲示と配布の協力要請を行いました。
- ・イベント直前の週末の土曜日に、チラシやポケットティッシュを配布して周知活動を行いました。
- ・中央公民館での会合に参加して、イベント周知の時間を設け、説明しました。
- ・自治会長会の会合でイベントの周知をし、イベントへの参加要請、ポスター掲示、チラシ配布要請を行いました（3回）。
- ・公用車で市内を巡回してイベントのPRを行いました。報告書回収の際もPRしながら回収しました。

## 製作物

チラシ 6,000枚／スタッフTシャツ 90枚／ポケットティッシュ 1,000個／のぼり 20本／タオル 250枚／横断幕・懸垂幕 1枚

## 実施効果

スポーツに取り組むきっかけづくり、「契機づけ」に寄与できたことや、チャレンジデーそのものへの興味を持っていただけたと感じています。市民や各種団体などが、自ら当日の種目を検討するなど、運動やスポーツに対するハードルが下がったような気がします。

## 担当者から

- ・イベント自体を殆ど知られてないので、「チャレンジデーとは何ぞや」などを1から説明する必要がありました。
- ・「参加します！」と積極的に明言される方がいて、嬉しかったです。
- ・市全体を1つのイベントに取り込ませることの難しさを実感しました。
- ・参加報告について、市民が報告しやすいよう配慮し、市内各コンビニエンスストアに回収箱を設置しましたが、設置数が増えたことによりかえって時間を要し回収し難くなりました。
- ・今回は残念な結果となりましたが、「また来年も開催してほしい」という声を頂き、イベント参加の趣旨が理解されている部分もあると実感できました。



ロープ・ジャンプ・Xの受付



ロープ・ジャンプ・X開始



跳んだ！弾けた！ロープ・ジャンプ・X